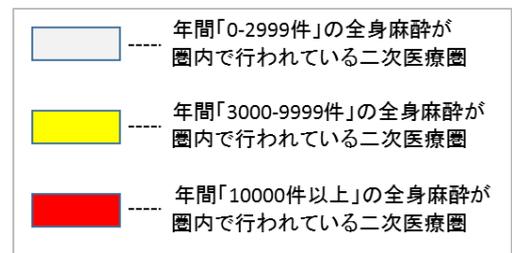
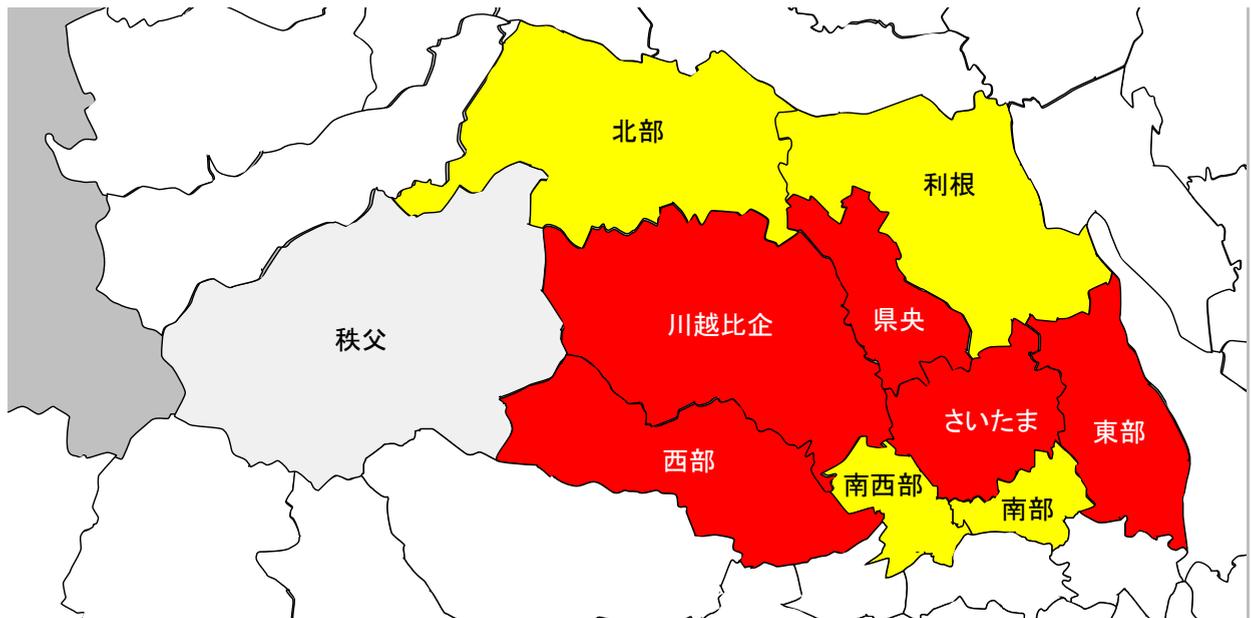


# 11. 埼玉県



目次

埼玉県	11	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	11	-	7
1. 南部医療圏	11	-	24
2. 南西部医療圏	11	-	28
3. 東部医療圏	11	-	32
4. さいたま医療圏	11	-	36
5. 県央医療圏	11	-	40
6. 川越比企医療圏	11	-	44
7. 西部医療圏	11	-	48
8. 利根医療圏	11	-	52
9. 北部医療圏	11	-	56
10. 秩父医療圏	11	-	60

# 11. 埼玉県

## (埼玉県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 埼玉県は、総人口約7,345千人(2020年)、面積3,798km<sup>2</sup>、人口密度は1,934人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 埼玉県の総人口は2030年に7,076千人へと減少し(2020年比-4%)、2045年に6,525千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の994千人が、2030年にかけて1,275千人へと増加し(2020年比+28%)、2045年には1,314千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 埼玉県の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値43)、介護給付費は217千円(偏差値36)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 埼玉県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、103,326人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が54,100床(偏差値49)、高齢者住宅等が49,226床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、65,299人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設47、介護医療院47、有料老人ホーム60、軽費ホーム49、グループホーム43、サ高住54である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、7,950人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## 2. 推移

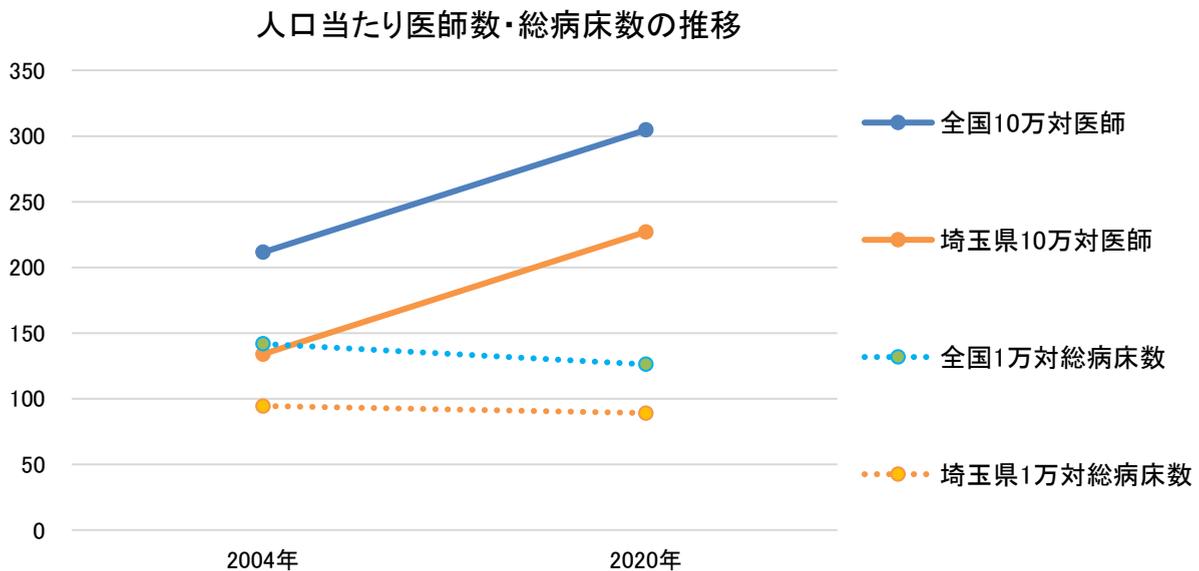
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は363(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2020年に342(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.5)偏差値46)となり、16年間で21病院が減少した。

2004年の診療所数は3,738(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2020年に4,383(人口10万人当たり60診療所(全国平均81)偏差値39)と、645診療所が増加した。

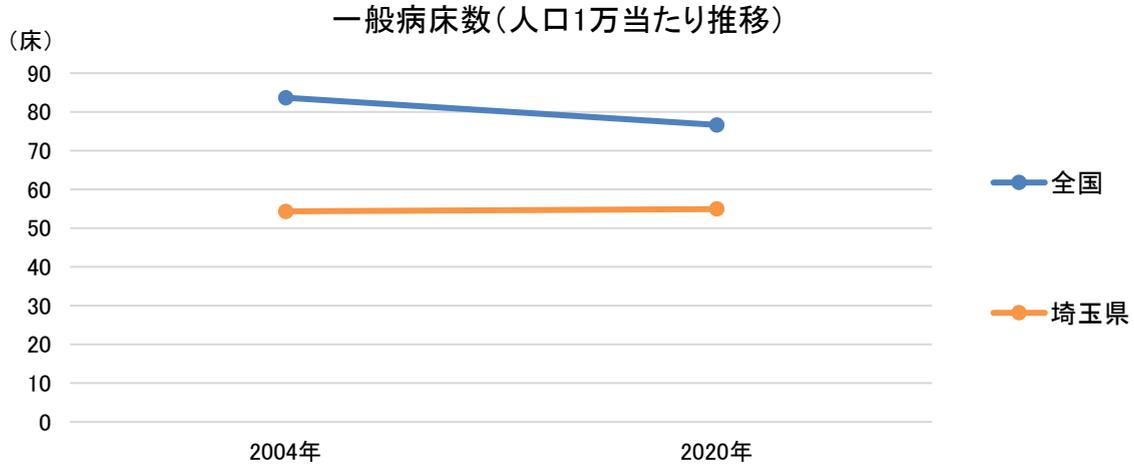
2004年の総病床数は66,638床(人口1万人当たり94(全国平均142)偏差値41)であったが、2020年に65,493床(人口1万人当たり89(全国平均126)偏差値43)と、1,145床の減少、率にして2%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は9,454人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2020年に16,680人(人口10万人当たり227人(全国平均305人)偏差値42)と、7,226人の増加、率にして76%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



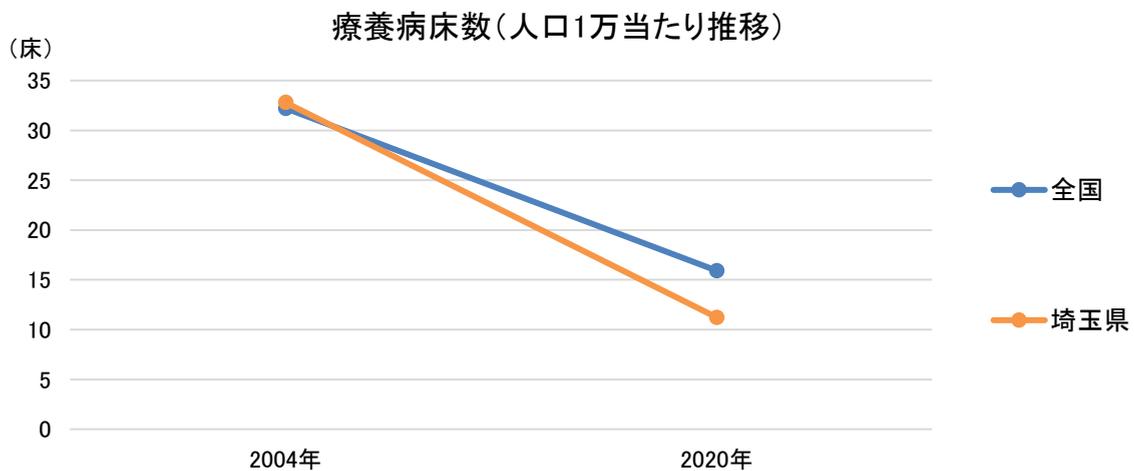
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は38,328床(人口1万人当たり54(全国平均84)偏差値40)であったが、2020年に40,349床(人口1万人当たり55(全国平均77)偏差値42)と、2,021床の増加、率にして5%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は14,564床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2020年に11,167床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均16)偏差値45)と、3,397床の減少、率にして23%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 11-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
埼玉県	7,345	5位	3,798	39位	1,934.0		27%
南部	809	11%	85	2%	9,495.1	大都市型	22%
南西部	730	10%	111	3%	6,582.5	大都市型	24%
東部	1,155	16%	250	7%	4,627.2	大都市型	27%
さいたま	1,324	18%	217	6%	6,089.2	大都市型	24%
県央	529	7%	173	5%	3,056.8	大都市型	29%
川越比企	794	11%	627	16%	1,266.8	地方都市型	30%
西部	772	11%	406	11%	1,899.4	地方都市型	30%
利根	635	9%	474	12%	1,340.8	地方都市型	31%
北部	501	7%	562	15%	891.9	地方都市型	30%
秩父	95	1%	893	24%	106.1	過疎地域型	36%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資\_図表 11-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
埼玉県	7,345	7,076	6,525	994	1,275	1,314	-4%	-8%	28%	3%
南部	809	822	816	93	113	129	2%	-1%	22%	14%
南西部	730	723	704	91	110	122	-1%	-3%	21%	11%
東部	1,155	1,123	1,048	155	197	198	-3%	-7%	27%	1%
さいたま	1,324	1,318	1,286	163	215	249	0%	-2%	32%	16%
県央	529	498	445	77	98	98	-6%	-11%	27%	0%
川越比企	794	757	675	115	149	141	-5%	-11%	30%	-5%
西部	772	717	617	115	157	157	-7%	-14%	37%	0%
利根	635	578	482	95	125	113	-9%	-17%	32%	-10%
北部	501	460	391	72	93	90	-8%	-15%	29%	-3%
秩父	95	80	61	18	19	17	-16%	-24%	6%	-11%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)
埼玉県	339	43	0.918	122	43	0.841	192	46	0.971	217	36
南部	301	34	0.916	108	38	0.842	171	34	0.971	241	43
南西部	326	40	0.920	123	43	0.885	179	38	0.941	208	33
東部	335	42	0.918	121	42	0.843	189	44	0.964	202	31
さいたま	336	42	0.918	112	39	0.776	198	49	1.012	247	45
県央	350	45	0.906	118	41	0.778	206	54	0.994	207	33
川越比企	349	45	0.920	127	44	0.849	198	49	0.973	200	31
西部	346	44	0.912	132	46	0.883	190	45	0.934	202	31
利根	368	49	0.936	136	47	0.874	207	54	0.982	206	33
北部	350	45	0.922	130	45	0.870	197	49	0.965	237	42
秩父	351	45	0.892	125	43	0.804	201	51	0.953	255	47

出典 <一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省  
 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで)  
 ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。

資\_図表 11-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
埼玉県	842	42	0.931	398	43	0.891	408	45	0.969
南部	864	44	0.961	403	43	0.906	425	50	1.017
南西部	878	45	0.980	446	47	1.013	394	41	0.940
東部	843	42	0.938	389	42	0.890	416	47	0.979
さいたま	829	41	0.907	355	38	0.780	434	52	1.028
県央	816	40	0.903	360	39	0.812	420	48	0.991
川越比企	838	42	0.929	421	45	0.945	383	39	0.912
西部	857	44	0.950	434	46	0.973	386	39	0.921
利根	836	42	0.913	394	42	0.868	407	45	0.959
北部	841	42	0.902	406	43	0.866	406	45	0.949
秩父	754	35	0.802	367	40	0.763	361	33	0.852

出典 <一人あたり後期高齢者医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省

資\_図表 11-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
埼玉県	342	4.2%	4.7	46	4,383	4.3%	60	39
南部	29	8%	3.6	43	463	11%	57	38
南西部	29	8%	4.0	44	365	8%	50	34
東部	50	15%	4.3	45	592	14%	51	34
さいたま	39	11%	2.9	41	981	22%	74	46
県央	18	5%	3.4	43	293	7%	55	37
川越比企	50	15%	6.3	49	472	11%	59	39
西部	53	15%	6.9	51	433	10%	56	37
利根	32	9%	5.0	46	340	8%	54	36
北部	34	10%	6.8	51	357	8%	71	45
秩父	8	2%	8.4	55	87	2%	92	55
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 11-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
埼玉県	4,383	4.3%	60	39	4,184	4.3%	57	40	199	3.2%	2.7	46
南部	463	11%	57	38	448	11%	55	39	15	8%	1.9	44
南西部	365	8%	50	34	350	8%	48	35	15	8%	2.1	45
東部	592	14%	51	34	557	13%	48	35	35	18%	3.0	47
さいたま	981	22%	74	46	950	23%	72	48	31	16%	2.3	45
県央	293	7%	55	37	276	7%	52	37	17	9%	3.2	47
川越比企	472	11%	59	39	451	11%	57	40	21	11%	2.6	46
西部	433	10%	56	37	413	10%	54	38	20	10%	2.6	46
利根	340	8%	54	36	319	8%	50	36	21	11%	3.3	47
北部	357	8%	71	45	337	8%	67	45	20	10%	4.0	48
秩父	87	2%	92	55	83	2%	88	56	4	2%	4.2	49
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
埼玉県	62,934	4.2%	857	43	2,559	3.0%	35	46	65,493	4.1%	892	43
南部	5,315	8%	657	39	222	9%	27	45	5,537	8%	684	39
南西部	5,578	9%	764	41	189	7%	26	45	5,767	9%	790	41
東部	9,358	15%	810	42	388	15%	34	46	9,746	15%	843	42
さいたま	8,040	13%	607	38	342	13%	26	45	8,382	13%	633	38
県央	3,927	6%	743	41	236	9%	45	47	4,163	6%	788	41
川越比企	9,507	15%	1,198	50	258	10%	33	46	9,765	15%	1,230	49
西部	9,618	15%	1,246	51	275	11%	36	46	9,893	15%	1,282	50
利根	5,501	9%	866	43	333	13%	52	48	5,834	9%	918	44
北部	5,340	8%	1,065	47	256	10%	51	48	5,596	9%	1,116	47
秩父	750	1%	792	42	60	2%	63	49	810	1%	855	42
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 11-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般				療養				精神			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
埼玉県	37,823	4.3%	515	42	11,134	3.9%	152	46	13,769	4.2%	187	47
南部	3,390	9%	419	38	937	8%	116	44	988	7%	122	44
南西部	3,598	10%	493	41	870	8%	119	44	1,106	8%	151	45
東部	6,010	16%	520	42	1,345	12%	116	44	2,001	15%	173	46
さいたま	5,577	15%	421	38	1,266	11%	96	43	1,167	8%	88	42
県央	2,350	6%	445	39	826	7%	156	46	742	5%	140	45
川越比企	5,131	14%	646	47	1,913	17%	241	51	2,453	18%	309	52
西部	4,923	13%	638	47	2,223	20%	288	53	2,462	18%	319	53
利根	3,603	10%	567	44	582	5%	92	43	1,232	9%	194	47
北部	2,728	7%	544	43	935	8%	186	48	1,618	12%	323	53
秩父	513	1%	542	43	237	2%	250	51	0	0%	0	38
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 11-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	87,589		69	(53)	99,487		79	(77)
埼玉県	4,161	4.8%	57	48	2,968	3.0%	40	45
南部	373	9%	46	46	255	9%	32	44
南西部	368	9%	50	46	308	10%	42	45
東部	940	23%	81	52	242	8%	21	42
さいたま	487	12%	37	44	253	9%	19	42
県央	275	7%	52	47	118	4%	22	43
川越比企	558	13%	70	50	610	21%	77	50
西部	595	14%	77	51	432	15%	56	47
利根	370	9%	58	48	268	9%	42	45
北部	155	4%	31	43	400	13%	80	50
秩父	40	1%	42	45	82	3%	87	51
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

資\_図表 11-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
埼玉県	9,989	9,104	0	53,030	28,806	11,193	24.0%	42	0.0%	48
南部	1,093	1,093	0	4,217	2,319	910	32.0%	45	0.0%	48
南西部	550	546	0	5,103	3,114	883	14.9%	39	0.0%	48
東部	1,224	1,222	0	7,994	4,718	1,392	20.6%	41	0.0%	48
さいたま	2,149	2,083	0	5,833	3,497	1,205	37.3%	47	0.0%	48
県央	1,185	623	0	2,761	1,755	817	26.2%	43	0.0%	48
川越比企	481	427	0	8,991	4,708	1,881	8.3%	36	0.0%	48
西部	1,394	1,338	0	8,371	3,675	2,220	26.7%	43	0.0%	48
利根	836	752	0	4,771	2,811	728	21.1%	41	0.0%	48
北部	817	760	0	4,493	1,955	915	28.0%	44	0.0%	48
秩父	260	260	0	496	254	242	50.6%	52	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覽令和4年4月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県/市区町村/日本赤十字社/済生会/独立行政法人地域医療機能推進機構/地方独立行政法人/独立行政法人国立病院機構/国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これら以外を民間病院としている。指定一覽掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,315,172		1,835	(812)	839,196		665	(271)
埼玉県	107,818	4.7%	1,468	45	44,544	5.3%	606	48
南部	9,469	9%	1,170	42	5,292	12%	654	50
南西部	8,760	8%	1,199	42	5,136	12%	703	51
東部	17,832	17%	1,543	46	7,932	18%	686	51
さいたま	20,991	19%	1,585	47	5,556	12%	420	41
県央	10,005	9%	1,893	51	2,412	5%	456	42
川越比企	15,837	15%	1,995	52	6,624	15%	835	56
西部	12,252	11%	1,588	47	4,200	9%	544	46
利根	6,032	6%	949	39	4,392	10%	691	51
北部	5,889	5%	1,175	42	3,000	7%	598	48
秩父	751	1%	793	37	0	0%	0	25
出典	令和3年度病床機能報告 (令和2年4月～令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資\_図表 11-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	384,332		305	(99)	243,064		193	(76)	141,268		112	(34)
埼玉県	16,680	4.3%	227	42	10,124	4.2%	138	43	6,556	4.6%	89	43
南部	1,718	10%	212	41	1,051	10%	130	42	667	10%	82	41
南西部	1,401	8%	192	39	845	8%	116	40	556	8%	76	40
東部	2,503	15%	217	41	1,604	16%	139	43	899	14%	78	40
さいたま	3,383	20%	256	45	1,829	18%	138	43	1,554	24%	117	52
県央	1,176	7%	222	42	724	7%	137	43	452	7%	85	42
川越比企	2,295	14%	289	48	1,579	16%	199	51	716	11%	90	44
西部	1,991	12%	258	45	1,282	13%	166	47	709	11%	92	44
利根	1,013	6%	159	35	555	5%	87	36	458	7%	72	38
北部	1,030	6%	205	40	579	6%	115	40	452	7%	90	44
秩父	170	1%	179	37	76	1%	80	35	94	1%	99	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 11-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
埼玉県	1,314	4.0%	17.9	43	668	4.7%	9.1	46	485	4.2%	6.6	44
南部	117	9%	14.5	40	63	9%	7.8	43	50	10%	6.2	43
南西部	99	8%	13.6	40	61	9%	8.4	44	50	10%	6.8	44
東部	180	14%	15.6	41	77	12%	6.7	41	77	16%	6.7	44
さいたま	294	22%	22.2	47	199	30%	15.0	58	81	17%	6.1	43
県央	101	8%	19.1	44	26	4%	4.9	37	22	5%	4.2	38
川越比企	178	14%	22.4	47	105	16%	13.2	54	83	17%	10.5	53
西部	161	12%	20.9	46	65	10%	8.4	44	59	12%	7.6	46
利根	82	6%	12.9	39	43	6%	6.8	41	30	6%	4.7	40
北部	89	7%	17.8	43	25	4%	5.0	37	30	6%	6.0	42
秩父	13	1%	13.7	40	4	1%	4.2	36	3	1%	3.2	36

出典 令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月

資\_図表 11-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
埼玉県	254	4.3%	3.5	45	449	4.6%	6.1	45	310	4.1%	4.2	43
南部	23	9%	2.8	42	44	10%	5.4	42	23	7%	2.8	38
南西部	29	11%	4.0	47	46	10%	6.3	45	31	10%	4.2	43
東部	48	19%	4.2	48	57	13%	4.9	41	41	13%	3.5	41
さいたま	53	21%	4.0	47	99	22%	7.5	49	76	25%	5.7	49
県央	10	4%	1.9	38	27	6%	5.1	41	29	9%	5.5	48
川越比企	36	14%	4.5	49	53	12%	6.7	46	40	13%	5.0	46
西部	26	10%	3.4	44	52	12%	6.7	47	38	12%	4.9	46
利根	18	7%	2.8	42	42	9%	6.6	46	17	5%	2.7	38
北部	8	3%	1.6	37	23	5%	4.6	40	10	3%	2.0	35
秩父	3	1%	3.2	43	6	1%	6.3	45	5	2%	5.3	47

出典 令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
埼玉県	369	3.7%	5.0	42	990	4.4%	13.5	44	660	3.8%	9.0	40
南部	19	5%	2.3	35	90	9%	11.1	41	67	10%	8.3	39
南西部	32	9%	4.4	40	85	9%	11.6	41	44	7%	6.0	34
東部	41	11%	3.5	38	136	14%	11.8	42	107	16%	9.3	41
さいたま	87	24%	6.6	46	169	17%	12.8	43	110	17%	8.3	39
県央	28	8%	5.3	43	82	8%	15.5	47	52	8%	9.8	42
川越比企	56	15%	7.1	48	138	14%	17.4	50	100	15%	12.6	47
西部	47	13%	6.1	45	157	16%	20.3	54	78	12%	10.1	42
利根	23	6%	3.6	38	64	6%	10.1	39	49	7%	7.7	37
北部	33	9%	6.6	46	61	6%	12.2	42	45	7%	9.0	40
秩父	3	1%	3.2	37	8	1%	8.4	37	8	1%	8.4	39
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 11-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,279		5.0	(2.2)	7,149		5.7	(2.5)	6,391		5.1	(3.3)
埼玉県	255	4.1%	3.5	43	292	4.1%	4.0	43	208	3.3%	2.8	43
南部	18	7%	2.2	38	24	8%	3.0	39	12	6%	1.5	39
南西部	18	7%	2.5	39	24	8%	3.3	40	13	6%	1.8	40
東部	41	16%	3.5	44	43	15%	3.7	42	20	10%	1.7	40
さいたま	49	19%	3.7	44	47	16%	3.5	42	51	25%	3.9	46
県央	26	10%	4.9	50	28	10%	5.3	49	17	8%	3.2	44
川越比企	26	10%	3.3	42	34	12%	4.3	44	25	12%	3.1	44
西部	36	14%	4.7	49	44	15%	5.7	50	43	21%	5.6	52
利根	23	9%	3.6	44	17	6%	2.7	38	12	6%	1.9	40
北部	15	6%	3.0	41	27	9%	5.4	49	14	7%	2.8	43
秩父	3	1%	3.2	42	4	1%	4.2	44	1	0%	1.1	38
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 11-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,997		6.3	(3.5)	1,820		1.4	(1.0)	4,704		3.7	(2.3)
埼玉県	355	4.4%	4.8	46	86	4.7%	1.2	47	215	4.6%	2.9	47
南部	31	9%	3.8	43	8	9%	1.0	45	14	7%	1.7	41
南西部	43	12%	5.9	49	4	5%	0.5	41	19	9%	2.6	45
東部	57	16%	4.9	46	16	19%	1.4	49	30	14%	2.6	45
さいたま	71	20%	5.4	47	12	14%	0.9	45	57	27%	4.3	53
県央	31	9%	5.9	49	11	13%	2.1	56	11	5%	2.1	43
川越比企	52	15%	6.6	51	13	15%	1.6	52	37	17%	4.7	54
西部	35	10%	4.5	45	15	17%	1.9	55	32	15%	4.1	52
利根	19	5%	3.0	40	5	6%	0.8	43	8	4%	1.3	39
北部	14	4%	2.8	40	2	2%	0.4	40	7	3%	1.4	40
秩父	2	1%	2.1	38	0	0%	0	36	0	0%	0	34
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 11-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,377		1.9	(1.4)	2,868		2.3	(1.6)
埼玉県	91	3.8%	1.2	45	89	3.1%	1.2	43
南部	4	4%	0.5	40	10	11%	1.2	44
南西部	6	7%	0.8	42	11	12%	1.5	45
東部	10	11%	0.9	43	13	15%	1.1	43
さいたま	22	24%	1.7	48	5	6%	0.4	38
県央	9	10%	1.7	49	8	9%	1.5	45
川越比企	12	13%	1.5	47	19	21%	2.4	51
西部	16	18%	2.1	51	15	17%	1.9	48
利根	8	9%	1.3	46	6	7%	0.9	42
北部	4	4%	0.8	42	2	2%	0.4	38
秩父	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
埼玉県	47,350	4.1%	645	40	37,130	4.0%	506	41	10,219	4.1%	139	42
南部	3,853	8%	476	34	2,901	8%	358	34	952	9%	118	40
南西部	3,848	8%	527	36	3,175	9%	435	38	673	7%	92	36
東部	7,061	15%	611	39	5,648	15%	489	40	1,413	14%	122	40
さいたま	8,389	18%	634	40	6,198	17%	468	39	2,191	21%	165	46
県央	3,590	8%	679	41	2,756	7%	521	41	834	8%	158	45
川越比企	6,351	13%	800	46	5,151	14%	649	47	1,199	12%	151	44
西部	6,202	13%	804	46	5,198	14%	674	48	1,003	10%	130	41
利根	3,822	8%	601	39	2,973	8%	468	39	849	8%	134	42
北部	3,669	8%	732	43	2,724	7%	543	42	945	9%	188	49
秩父	566	1%	598	39	406	1%	429	37	160	2%	169	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 11-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
埼玉県	6,553	4.4%	89	45	16,370	5.1%	223	47
南部	509	8%	63	41	1,478	9%	183	43
南西部	687	10%	94	46	1,440	9%	197	44
東部	1,203	18%	104	48	2,430	15%	210	45
さいたま	726	11%	55	40	3,744	23%	283	53
県央	473	7%	89	45	1,177	7%	223	47
川越比企	869	13%	109	49	2,056	13%	259	50
西部	1,056	16%	137	53	1,596	10%	207	45
利根	532	8%	84	44	1,270	8%	200	44
北部	427	7%	85	45	1,033	6%	206	45
秩父	71	1%	75	43	146	1%	154	40
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資\_図表 11-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	15,280	0.8	(0.4)		1,698	0.1	(0.1)		14,163	0.8	(0.3)	
埼玉県	538	3.5%	0.5	43	63	3.7%	0.1	46	548	3.9%	0.6	42
南部	48	9%	0.5	42	7	11%	0.1	48	50	9%	0.5	41
南西部	34	6%	0.4	39	8	13%	0.1	50	53	10%	0.6	43
東部	71	13%	0.5	41	8	13%	0.1	45	71	13%	0.5	38
さいたま	160	30%	1.0	54	6	10%	0.0	43	110	20%	0.7	47
県央	40	7%	0.5	42	4	6%	0.1	45	34	6%	0.4	37
川越比企	51	9%	0.4	41	9	14%	0.1	48	66	12%	0.6	43
西部	52	10%	0.5	41	7	11%	0.1	46	65	12%	0.6	42
利根	37	7%	0.4	39	4	6%	0.0	44	44	8%	0.5	38
北部	43	8%	0.6	44	9	14%	0.1	54	46	8%	0.6	45
秩父	2	0%	0.1	32	1	2%	0.1	45	9	2%	0.5	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

資\_図表 11-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	1,806,963	97	(15)		1,036,035	56	(14)		770,928	41	(14)	
埼玉県	103,326	5.7%	104	54	54,100	5.2%	54	49	49,226	6.4%	50	56
南部	10,264	10%	110	58	4,680	9%	50	46	5,584	11%	60	64
南西部	9,303	9%	102	53	4,524	8%	50	46	4,779	10%	52	58
東部	14,386	14%	93	47	6,937	13%	45	42	7,449	15%	48	55
さいたま	21,699	21%	133	74	9,816	18%	60	53	11,883	24%	73	73
県央	7,536	7%	97	50	4,638	9%	60	53	2,898	6%	37	47
川越比企	10,367	10%	90	45	5,692	11%	50	46	4,675	9%	41	49
西部	10,381	10%	90	45	6,068	11%	53	48	4,313	9%	37	47
利根	9,311	9%	98	50	6,119	11%	64	56	3,192	6%	34	44
北部	8,237	8%	114	61	4,340	8%	60	53	3,897	8%	54	59
秩父	1,842	2%	104	55	1,286	2%	73	62	556	1%	32	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)				特別養護老人ホーム(特養)				介護療養病床数				介護医療院			
	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
埼玉県	16,480	4.5%	17	45	36,040	5.9%	36	54	518	2.1%	0.5	47	1,062	2.7%	1.1	47
南部	1,179	7%	13	39	3,340	9%	36	53	43	8%	0.5	47	118	11%	1.3	48
南西部	1,922	12%	21	52	2,602	7%	28	46	0	0%	0	45	0	0%	0	44
東部	2,324	14%	15	43	4,391	12%	28	46	120	23%	0.8	48	102	10%	0.7	46
さいたま	2,818	17%	17	46	6,669	19%	41	58	84	16%	0.5	47	245	23%	1.5	48
県央	1,644	10%	21	53	2,994	8%	39	56	0	0%	0	45	0	0%	0	44
川越比企	1,701	10%	15	42	3,930	11%	34	52	61	12%	0.5	47	0	0%	0	44
西部	1,647	10%	14	42	3,696	10%	32	50	210	41%	1.8	52	515	48%	4.5	57
利根	1,524	9%	16	44	4,543	13%	48	65	0	0%	0	45	52	5%	0.5	45
北部	1,340	8%	19	48	2,970	8%	41	58	0	0%	0	45	30	3%	0.4	45
秩父	381	2%	22	53	905	3%	51	69	0	0%	0	45	0	0%	0	44

出典 令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 11-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
埼玉県	23,583	9.1%	23.7	60	981	4.1%	1.0	49	7,245	3.4%	7.3	43
南部	3,487	15%	37.4	75	0	0%	0	44	734	10%	7.9	44
南西部	2,085	9%	22.8	59	59	6%	0.6	47	663	9%	7.3	43
東部	3,858	16%	25.0	62	50	5%	0.3	45	1,059	15%	6.8	42
さいたま	6,839	29%	42.0	80	124	13%	0.8	47	1,105	15%	6.8	42
県央	1,127	5%	14.6	51	0	0%	0	44	501	7%	6.5	41
川越比企	1,789	8%	15.6	52	50	5%	0.4	46	900	12%	7.8	44
西部	2,004	8%	17.4	54	149	15%	1.3	50	506	7%	4.4	37
利根	1,244	5%	13.1	49	150	15%	1.6	51	764	11%	8.0	44
北部	980	4%	13.5	50	349	36%	4.8	67	833	11%	11.5	50
秩父	170	1%	9.6	45	50	5%	2.8	57	180	2%	10.2	48

出典 令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 11-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
埼玉県	17,417	6.3%	17.5	54	5,046	15.2%	5.1	67	12,371	5.1%	12.4	49
南部	1,363	8%	14.6	50	139	3%	1.5	49	1,224	10%	13.1	50
南西部	1,972	11%	21.6	60	421	8%	4.6	64	1,551	13%	17.0	56
東部	2,482	14%	16.1	52	1,016	20%	6.6	74	1,466	12%	9.5	45
さいたま	3,815	22%	23.4	62	1,053	21%	6.5	74	2,762	22%	17.0	56
県央	1,270	7%	16.4	52	94	2%	1.2	47	1,176	10%	15.2	53
川越比企	1,936	11%	16.8	53	706	14%	6.1	72	1,230	10%	10.7	47
西部	1,654	9%	14.4	49	963	19%	8.4	84	691	6%	6.0	39
利根	1,034	6%	10.9	44	564	11%	5.9	71	470	4%	4.9	38
北部	1,735	10%	24.0	63	90	2%	1.2	47	1,645	13%	22.7	65
秩父	156	1%	8.8	41	0	0%	0	41	156	1%	8.8	44
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 11-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762		6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)
埼玉県	8,649	4.6%	8.7	44	5,832	4.9%	5.9	47	2,817	4.1%	2.8	43
南部	814	9%	8.7	44	544	9%	5.8	47	270	10%	2.9	44
南西部	746	9%	8.2	41	495	8%	5.4	45	251	9%	2.7	43
東部	1,256	15%	8.1	41	865	15%	5.6	46	391	14%	2.5	41
さいたま	1,850	21%	11.4	55	1,212	21%	7.5	55	637	23%	3.9	52
県央	571	7%	7.4	38	400	7%	5.2	44	171	6%	2.2	39
川越比企	933	11%	8.1	41	596	10%	5.2	44	338	12%	2.9	44
西部	996	12%	8.7	44	657	11%	5.7	46	339	12%	2.9	44
利根	733	8%	7.7	39	532	9%	5.6	46	201	7%	2.1	38
北部	598	7%	8.3	42	410	7%	5.7	46	188	7%	2.6	42
秩父	151	2%	8.6	43	120	2%	6.8	52	32	1%	1.8	35
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531		71	(12.4)	229,090		12.3	(5.1)
埼玉県	73,249	4.7%	74	42	65,299	4.9%	66	45	7,950	3.5%	8.0	42
南部	7,741	11%	83	50	6,724	10%	72	51	1,017	13%	10.9	47
南西部	5,981	8%	66	36	5,242	8%	57	39	739	9%	8.1	42
東部	10,117	14%	65	36	8,849	14%	57	39	1,268	16%	8.2	42
さいたま	13,839	19%	85	51	12,160	19%	75	53	1,679	21%	10.3	46
県央	5,681	8%	73	42	5,230	8%	68	47	451	6%	5.8	37
川越比企	7,546	10%	66	36	6,712	10%	58	40	834	10%	7.3	40
西部	7,377	10%	64	35	6,677	10%	58	39	699	9%	6.1	38
利根	7,097	10%	75	43	6,559	10%	69	48	538	7%	5.7	37
北部	6,331	9%	88	53	5,725	9%	79	56	606	8%	8.4	42
秩父	1,537	2%	87	53	1,420	2%	80	57	117	1%	6.6	39
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 11-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
埼玉県	75,464	5.1%	76	49	27,952	4.1%	28	44	45,038	3.9%	45	43
南部	8,361	11%	90	53	3,257	12%	35	49	5,642	13%	61	50
南西部	6,197	8%	68	47	2,613	9%	29	44	4,020	9%	44	42
東部	11,161	15%	72	48	4,310	15%	28	44	7,285	16%	47	44
さいたま	20,672	27%	127	63	5,886	21%	36	50	8,850	20%	54	47
県央	3,856	5%	50	42	1,145	4%	15	35	2,641	6%	34	38
川越比企	9,424	12%	82	51	3,686	13%	32	47	4,626	10%	40	41
西部	5,723	8%	50	42	3,358	12%	29	45	4,519	10%	39	40
利根	3,869	5%	41	39	1,809	6%	19	38	3,391	8%	36	39
北部	5,342	7%	74	48	1,479	5%	20	39	3,336	7%	46	43
秩父	859	1%	49	41	409	1%	23	41	728	2%	41	41
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの							

資\_図表 11-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
埼玉県	363	5.1	45	342	4.7	46	-21	-6%
南部	31	4.3	43	29	3.6	43	-2	-6%
南西部	32	4.8	44	29	4.0	44	-3	-9%
東部	50	4.6	44	50	4.3	45	0	0%
さいたま	43	3.7	41	39	2.9	41	-4	-9%
県央	21	4.0	42	18	3.4	43	-3	-14%
川越比企	51	6.4	48	50	6.3	49	-1	-2%
西部	56	7.2	50	53	6.9	51	-3	-5%
利根	34	5.1	45	32	5.0	46	-2	-6%
北部	35	6.6	49	34	6.8	51	-1	-3%
秩父	10	8.7	54	8	8.4	55	-2	-20%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 11-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
埼玉県	3,738	53	39	4,383	60	39	645	17%
南部	347	48	36	463	57	38	116	33%
南西部	310	47	35	365	50	34	55	18%
東部	479	44	34	592	51	34	113	24%
さいたま	753	64	44	981	74	46	228	30%
県央	259	50	37	293	55	37	34	13%
川越比企	439	55	40	472	59	39	33	8%
西部	401	51	38	433	56	37	32	8%
利根	318	48	36	340	54	36	22	7%
北部	345	65	45	357	71	45	12	3%
秩父	87	76	50	87	92	55	0	0%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

11.埼玉県(2022年版)

資\_図表 11-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
埼玉県	9,454	134	41	16,680	227	42	7,226	76%
南部	903	125	40	1,718	212	41	815	90%
南西部	632	95	36	1,401	192	39	769	122%
東部	1,263	116	39	2,503	217	41	1,240	98%
さいたま	1,675	142	42	3,383	256	45	1,708	102%
県央	611	117	39	1,176	222	42	565	92%
川越比企	1,707	215	50	2,295	289	48	588	34%
西部	1,174	150	43	1,991	258	45	817	70%
利根	664	100	37	1,013	159	35	349	52%
北部	671	127	40	1,030	205	40	359	54%
秩父	154	134	41	170	179	37	16	10%

出典 <総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月  
<総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月

資\_図表 11-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
埼玉県	66,638	94	41	65,493	89	43	-1,145	-2%
南部	5,451	75	38	5,537	68	39	86	2%
南西部	5,485	82	39	5,767	79	41	282	5%
東部	10,023	92	41	9,746	84	42	-277	-3%
さいたま	8,585	73	38	8,382	63	38	-203	-2%
県央	4,455	86	40	4,163	79	41	-292	-7%
川越比企	10,667	134	49	9,765	123	49	-902	-8%
西部	9,188	118	46	9,893	128	50	705	8%
利根	5,870	89	40	5,834	92	44	-36	-1%
北部	5,833	110	44	5,596	112	47	-237	-4%
秩父	1,081	94	41	810	86	42	-271	-25%

出典 <総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月  
<総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月

資\_図表 11-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
埼玉県	38,328	54	40	40,349	55	42	2,021	5%
南部	3,482	48	37	3,594	44	38	112	3%
南西部	2,820	42	35	3,787	52	41	967	34%
東部	6,210	57	41	6,398	55	42	188	3%
さいたま	5,589	48	37	5,919	45	38	330	6%
県央	3,143	60	42	2,586	49	40	-557	-18%
川越比企	5,590	70	45	5,389	68	47	-201	-4%
西部	4,252	54	40	5,198	67	46	946	22%
利根	3,653	55	40	3,932	62	44	279	8%
北部	3,038	58	41	2,973	59	43	-65	-2%
秩父	551	48	37	573	61	44	22	4%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 11-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
埼玉県	14,564	33	50	11,167	11	45	-3,397	-23%
南部	1,169	29	48	955	10	44	-214	-18%
南西部	1,522	45	57	870	10	43	-652	-43%
東部	2,015	38	53	1,345	9	42	-670	-33%
さいたま	1,701	23	45	1,266	8	41	-435	-26%
県央	633	21	44	826	11	44	193	30%
川越比企	2,069	39	54	1,913	17	51	-156	-8%
西部	3,107	60	66	2,223	19	54	-884	-28%
利根	742	15	40	586	6	39	-156	-21%
北部	1,256	28	48	946	13	47	-310	-25%
秩父	350	25	46	237	13	47	-113	-32%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

## 11-1. <sup>なんぶ</sup>南部医療圏

構成市区町村 [川口市](#) [蕨市](#) [戸田市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 南部(川口市)は、総人口約809千人(2020年)、面積85km<sup>2</sup>、人口密度は9,495人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 南部の総人口は2030年に822千人へと増加し(2020年比+2%)、2045年に816千人へと減少する(2030年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の93千人が、2030年にかけて113千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には129千人へと減少する(2030年比-1%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 南部の一人当たり医療費(国保)は301千円(偏差値34)、介護給付費は241千円(偏差値43)であり、医療費は非常に低く、介護給付費は低い。

### 【医療の現状】

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は34と非常に少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の川口市立医療センター(標準群・救命)、1000例以上の戸田中央総合病院(標準群)、埼玉協同病院(標準群)、済生会川口総合病院(標準群)、500例以上の川口工業総合病院(標準群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,264人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,680床(偏差値46)、高齢者住宅等が5,584床(偏差値64)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,724人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設47、介護医療院48、有料老人ホーム75、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム44、サ高住50である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,017人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(南部医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

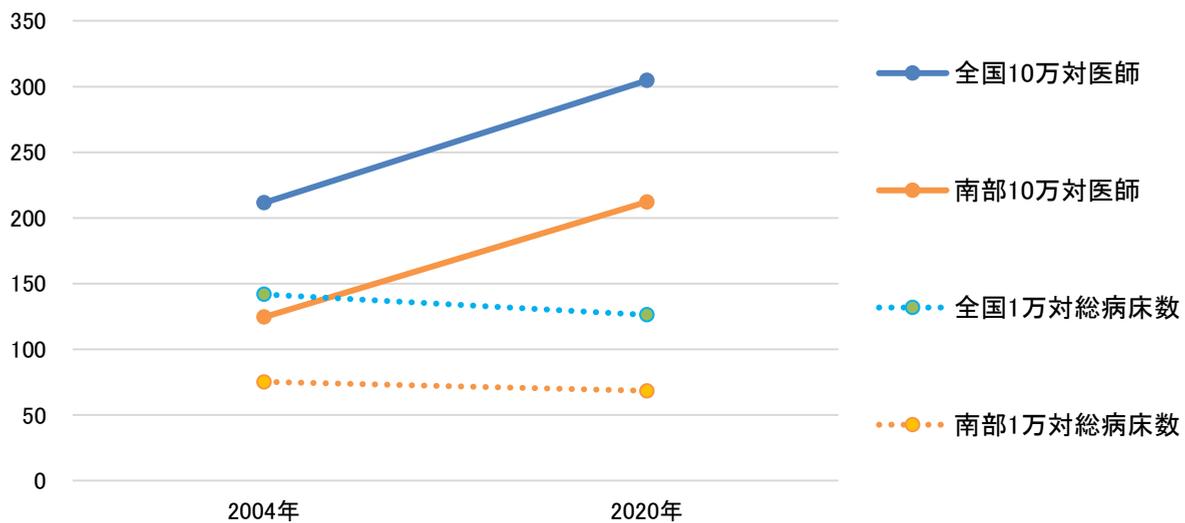
2004年の病院数は31(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2020年に29(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.5)偏差値43)となり、16年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数は347(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2020年に463(人口10万人当たり57診療所(全国平均81)偏差値38)と、116診療所が増加した。

2004年の総病床数は5,451床(人口1万人当たり75(全国平均142)偏差値38)であったが、2020年に5,537床(人口1万人当たり68(全国平均126)偏差値39)と、86床の増加、率にして2%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。

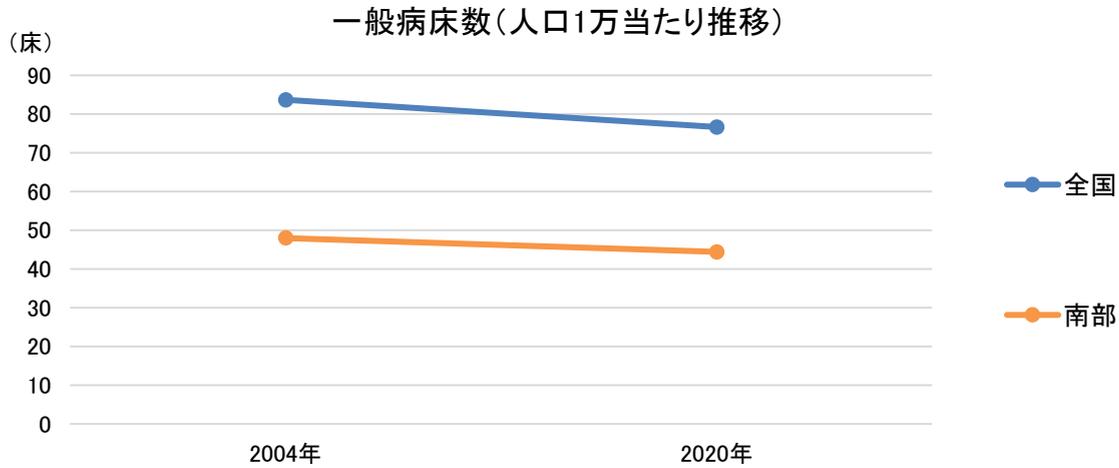
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は903人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2020年に1,718人(人口10万人当たり212人(全国平均305人)偏差値41)と、815人の増加、率にして90%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



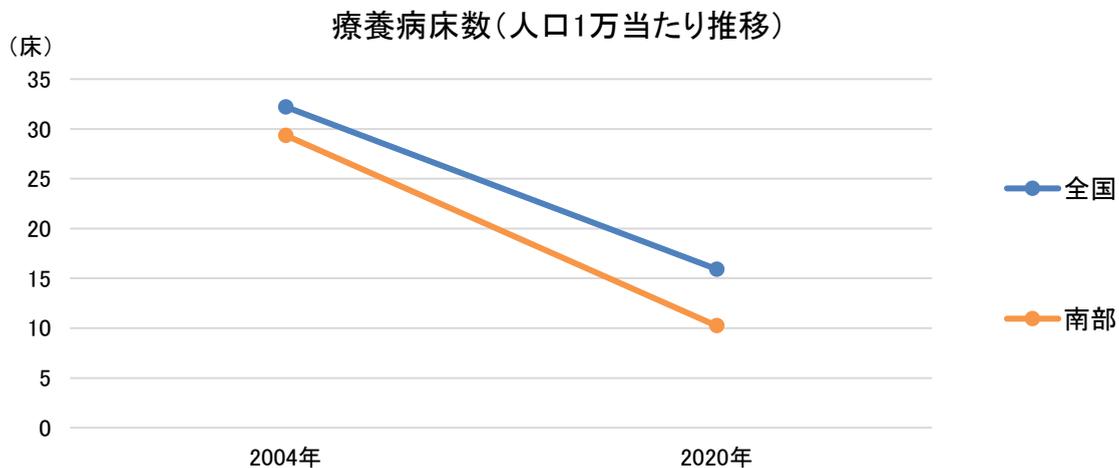
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は3,482床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2020年に3,594床(人口1万人当たり44(全国平均77)偏差値38)と、112床の増加、率にして3%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,169床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に955床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均16)偏差値44)と、214床の減少、率にして18%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-2. なんせいぶ 南西部医療圏

構成市区町村 [朝霞市](#) [志木市](#) [和光市](#) [新座市](#)  
[富士見市](#) [ふじみ野市](#) [三芳町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南西部(朝霞市)は、総人口約730千人(2020年)、面積111km<sup>2</sup>、人口密度は6,582人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南西部の総人口は2030年に723千人へと減少し(2020年比-1%)、2045年に704千人へと減少する(2030年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の91千人が、2030年にかけて110千人へと増加し(2020年比+21%)、2045年には122千人へと減少する(2030年比-3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南西部の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値40)、介護給付費は208千円(偏差値33)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNH0埼玉病院(標準群)、TMGあさか医療センター(標準群)、500例以上の新座志木中央総合病院(標準群)、イムス富士見総合病院(標準群)、イムス三芳総合病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は34で診療所数は非常に少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,303人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,524床(偏差値46)、高齢者住宅等が4,779床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,242人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム59、軽費ホーム47、グループホーム43、サ高住60である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、739人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(南西部医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

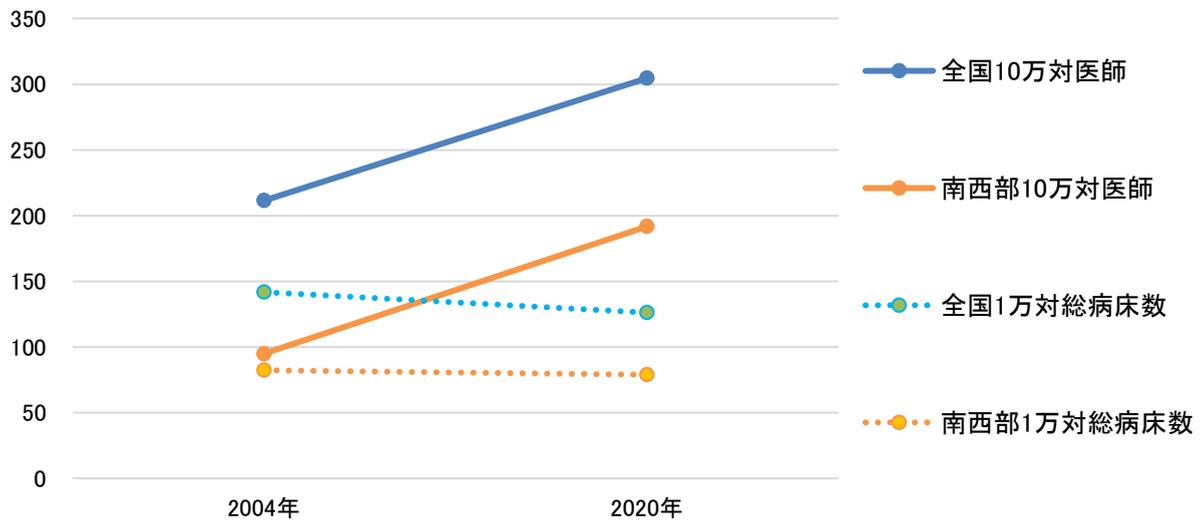
2004年の病院数は32(人口10万人当たり4.8病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2020年に29(人口10万人当たり4病院(全国平均6.5)偏差値44)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は310(人口10万人当たり47診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2020年に365(人口10万人当たり50診療所(全国平均81)偏差値34)と、55診療所が増加した。

2004年の総病床数は5,485床(人口1万人当たり82(全国平均142)偏差値39)であったが、2020年に5,767床(人口1万人当たり79(全国平均126)偏差値41)と、282床の増加、率にして5%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。

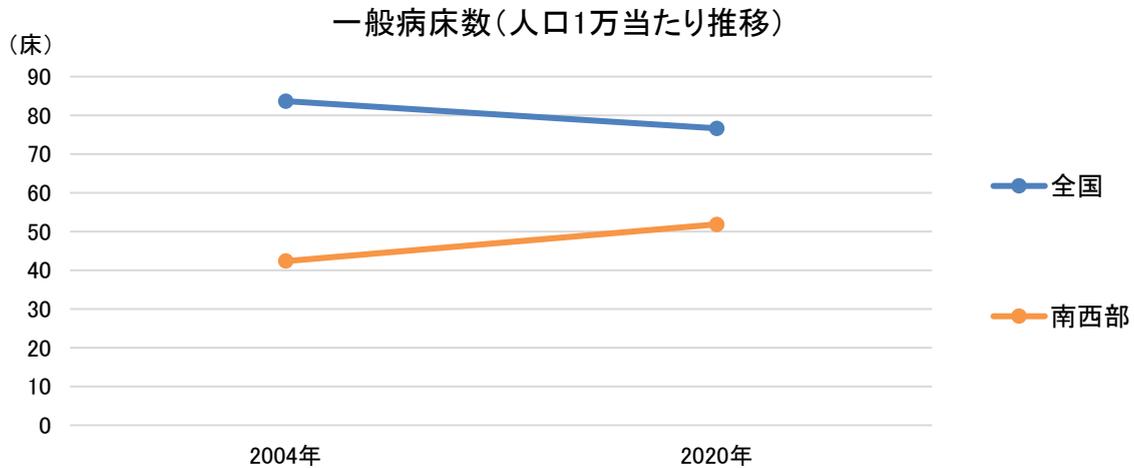
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は632人(人口10万人当たり95人(全国平均212人)偏差値36)であったが、2020年に1,401人(人口10万人当たり192人(全国平均305人)偏差値39)と、769人の増加、率にして122%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



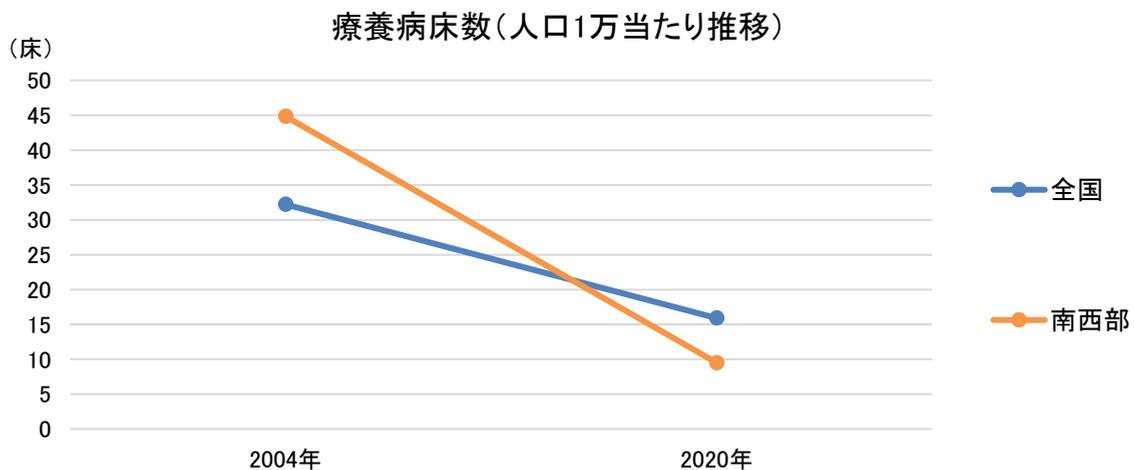
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,820床(人口1万人当たり42(全国平均84)偏差値35)であったが、2020年に3,787床(人口1万人当たり52(全国平均77)偏差値41)と、967床の増加、率にして34%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,522床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2020年に870床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均16)偏差値43)と、652床の減少、率にして43%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-3. <sup>と う ぶ</sup> 東部医療圏

構成市区町村 [春日部市](#) [草加市](#) [越谷市](#) [八潮市](#)  
[三郷市](#) [吉川市](#) [松伏町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(春日部市)は、総人口約1,155千人(2020年)、面積250km<sup>2</sup>、人口密度は4,627人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2030年に1,123千人へと減少し(2020年比-3%)、2045年に1,048千人へと減少する(2030年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の155千人が、2030年にかけて197千人へと増加し(2020年比+27%)、2045年には198千人へと減少する(2030年比-7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は335千円(偏差値42)、介護給付費は202千円(偏差値31)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の獨協医科大学埼玉医療センター(特定群・救命)、1000例以上の草加市立病院(標準群)、越谷市立病院(標準群)、春日部市立医療センター(標準群)、春日部中央総合病院(標準群)、500例以上の三郷中央総合病院(標準群)、みさと健和病院(標準群)、八潮中央総合病院(標準群)、越谷誠和病院(標準群)、秀和総合病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は34で診療所数は非常に少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、14,386人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,937床(偏差値42)、高齢者住宅等が7,449床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,849人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設48、介護医療院46、有料老人ホーム62、軽費ホーム45、グループホーム42、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,268人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(東部医療圏) 2. 推移

**【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】**

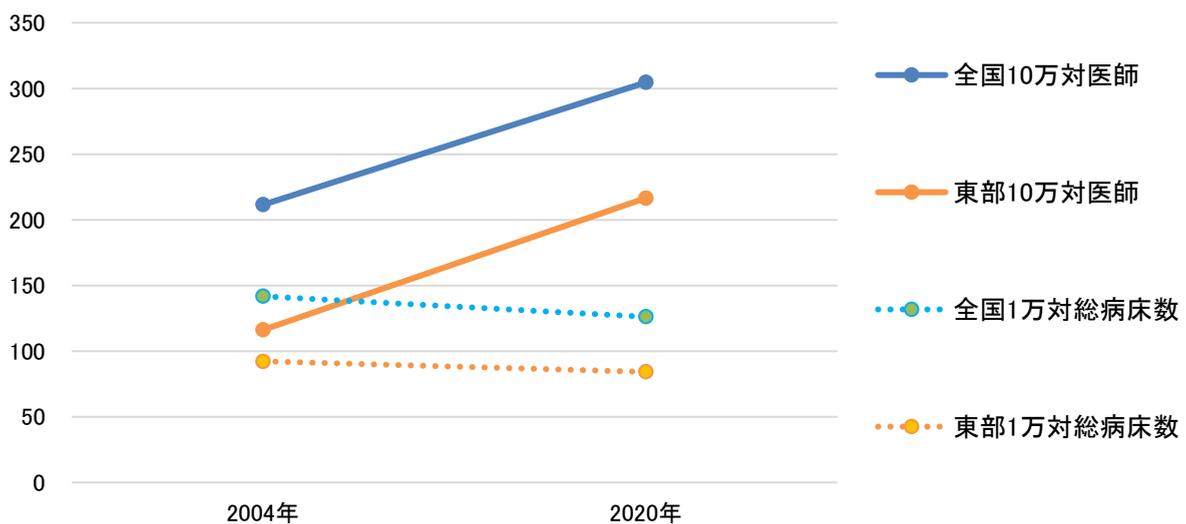
2004年の病院数は50(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2020年に50(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.5)偏差値45)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は479(人口10万人当たり44診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2020年に592(人口10万人当たり51診療所(全国平均81)偏差値34)と、113診療所が増加した。

2004年の総病床数は10,023床(人口1万人当たり92(全国平均142)偏差値41)であったが、2020年に9,746床(人口1万人当たり84(全国平均126)偏差値42)と、277床の減少、率にして3%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

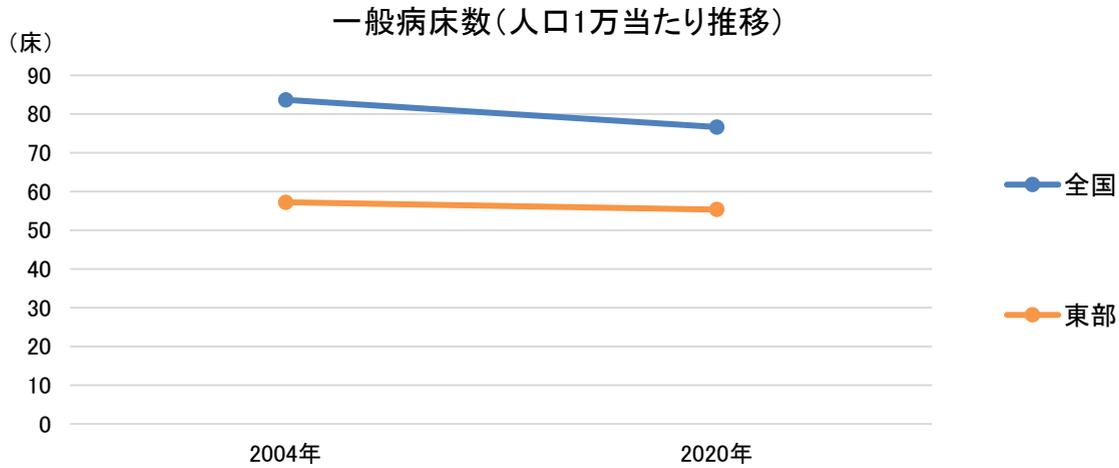
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,263人(人口10万人当たり116人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2020年に2,503人(人口10万人当たり217人(全国平均305人)偏差値41)と、1,240人の増加、率にして98%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



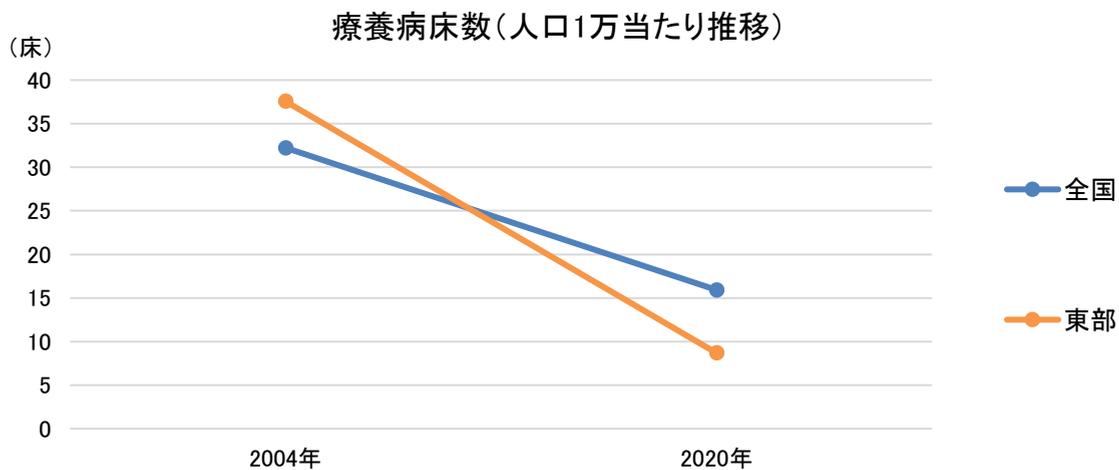
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は6,210床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2020年に6,398床(人口1万人当たり55(全国平均77)偏差値42)と、188床の増加、率にして3%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,015床(75歳以上1,000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2020年に1,345床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均16)偏差値42)と、670床の減少、率にして33%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-4. さいたま医療圏

構成市区町村	<a href="#">西区</a>	<a href="#">北区</a>	<a href="#">大宮区</a>	<a href="#">見沼区</a>
	<a href="#">中央区</a>	<a href="#">桜区</a>	<a href="#">浦和区</a>	<a href="#">南区</a>
	<a href="#">緑区</a>	<a href="#">岩槻区</a>		

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (さいたま医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： さいたま(さいたま市西区)は、総人口約1,324千人(2020年)、面積217km<sup>2</sup>、人口密度は6,089人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： さいたまの総人口は2030年に1,318千人とほぼ変わらず(2020年比±0%)、2045年に1,286千人へと減少する(2030年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の163千人が、2030年にかけて215千人へと増加し(2020年比+32%)、2045年には249千人へと減少する(2030年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： さいたまの一人当たり医療費(国保)は336千円(偏差値42)、介護給付費は247千円(偏差値45)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数52)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。さいたまには、年間全身麻酔件数が2000例以上の県立小児医療センター(標準群)、さいたま市立病院(標準群)、さいたま赤十字病院(特定群・救命)、自治医科大学附属さいたま医療センター(特定群・救命)、1000例以上の彩の国東大宮メディカルセンター(標準群)、JCHO埼玉メディカルセンター(標準群)、500例以上のさいたま市民医療センター(標準群)、丸山記念総合病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： さいたまの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、21,699人(75歳以上1,000人当たりの偏差値74)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,816床(偏差値53)、高齢者住宅等が11,883床(偏差値73)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12,160人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設47、介護医療院48、有料老人ホーム80、軽費ホーム47、グループホーム42、サ高住62である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,679人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(さいたま医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

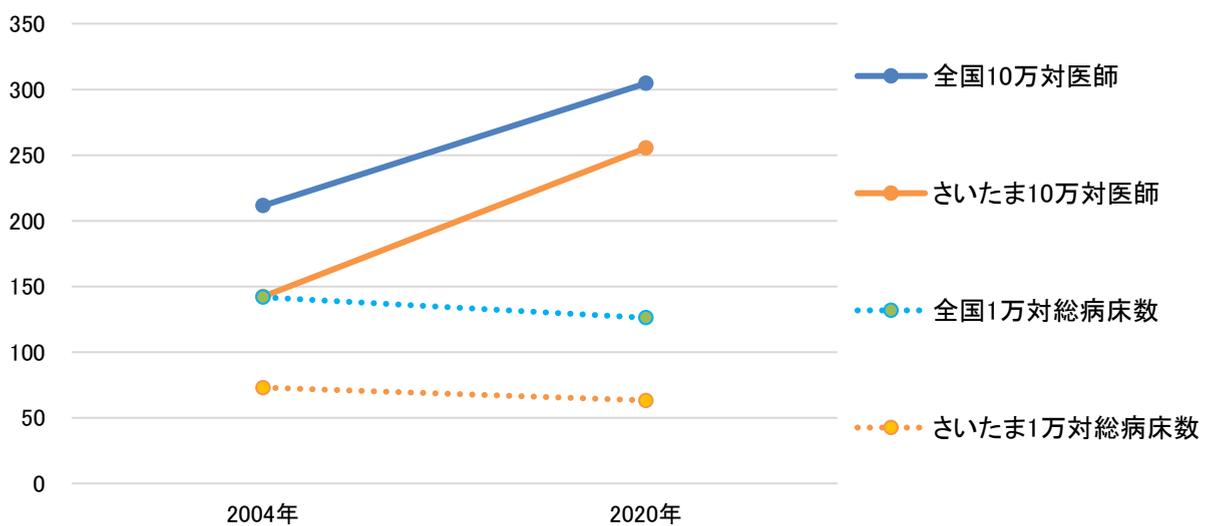
2004年の病院数は43(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2020年に39(人口10万人当たり2.9病院(全国平均6.5)偏差値41)となり、16年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数は753(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2020年に981(人口10万人当たり74診療所(全国平均81)偏差値46)と、228診療所が増加した。

2004年の総病床数は8,585床(人口1万人当たり73(全国平均142)偏差値38)であったが、2020年に8,382床(人口1万人当たり63(全国平均126)偏差値38)と、203床の減少、率にして2%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

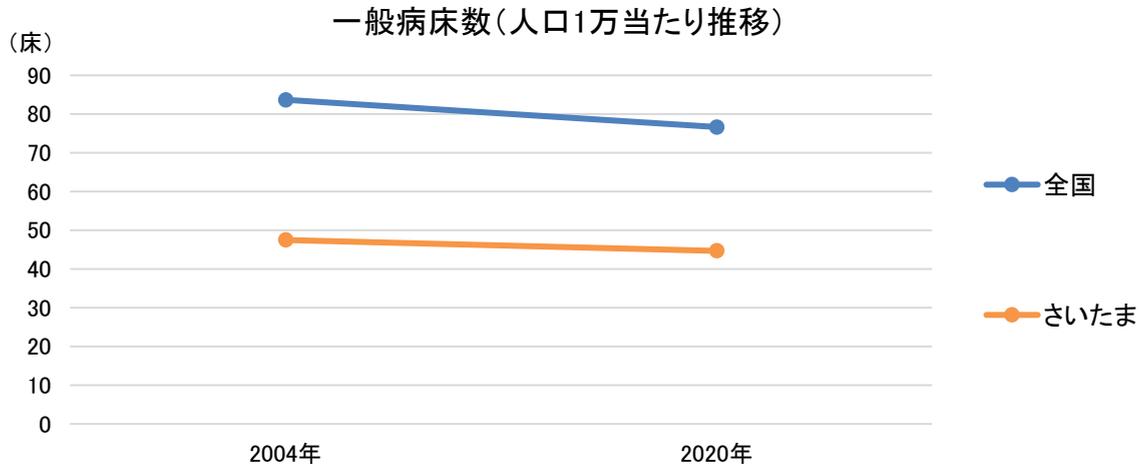
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,675人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2020年に3,383人(人口10万人当たり256人(全国平均305人)偏差値45)と、1,708人の増加、率にして102%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



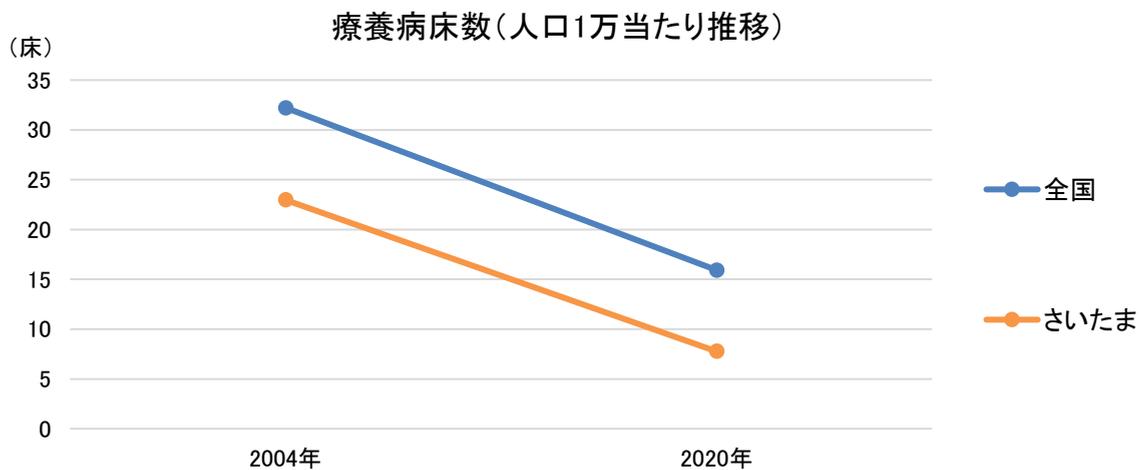
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は5,589床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2020年に5,919床(人口1万人当たり45(全国平均77)偏差値38)と、330床の増加、率にして6%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,701床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2020年に1,266床(75歳以上1,000人当たり8(全国平均16)偏差値41)と、435床の減少、率にして26%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-5. けんおう 県中央医療圏

構成市区町村

[鴻巣市](#)  
[伊奈町](#)

[上尾市](#)

[桶川市](#)

[北本市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県央(鴻巣市)は、総人口約529千人(2020年)、面積173km<sup>2</sup>、人口密度は3,057人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県央の総人口は2030年に498千人へと減少し(2020年比-6%)、2045年に445千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の77千人が、2030年にかけて98千人へと増加し(2020年比+27%)、2045年には98千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値45)、介護給付費は207千円(偏差値33)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の上尾中央総合病院(標準群)、県立がんセンター(標準群)、1000例以上の北里大学メディカルセンター(標準群)、500例以上の伊奈病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,536人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,638床(偏差値53)、高齢者住宅等が2,898床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,230人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム51、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム41、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、451人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(県央医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

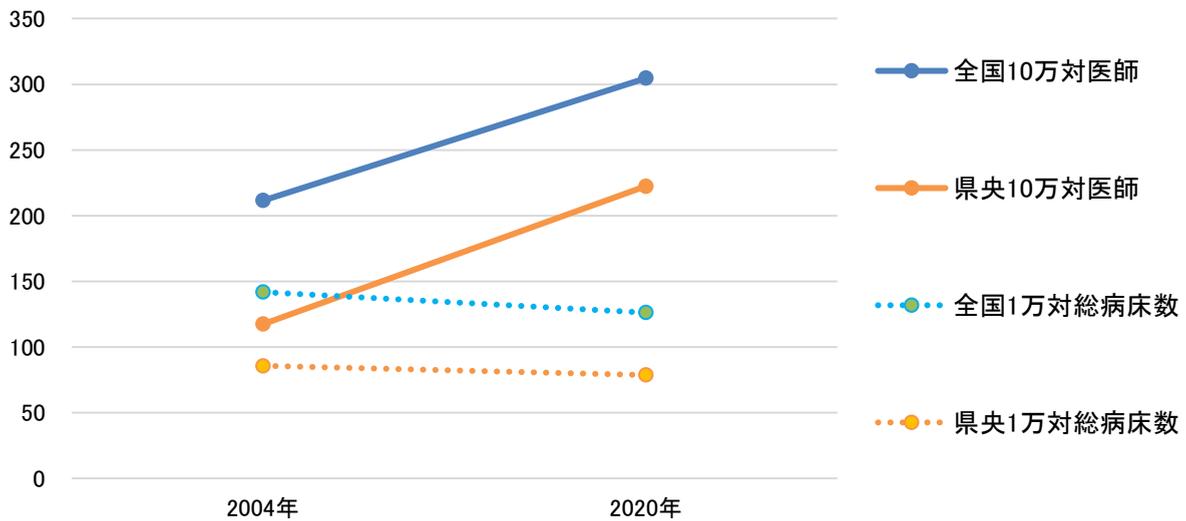
2004年の病院数は21(人口10万人当たり4病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2020年に18(人口10万人当たり3.4病院(全国平均6.5)偏差値43)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は259(人口10万人当たり50診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2020年に293(人口10万人当たり55診療所(全国平均81)偏差値37)と、34診療所が増加した。

2004年の総病床数は4,455床(人口1万人当たり86(全国平均142)偏差値40)であったが、2020年に4,163床(人口1万人当たり79(全国平均126)偏差値41)と、292床の減少、率にして7%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

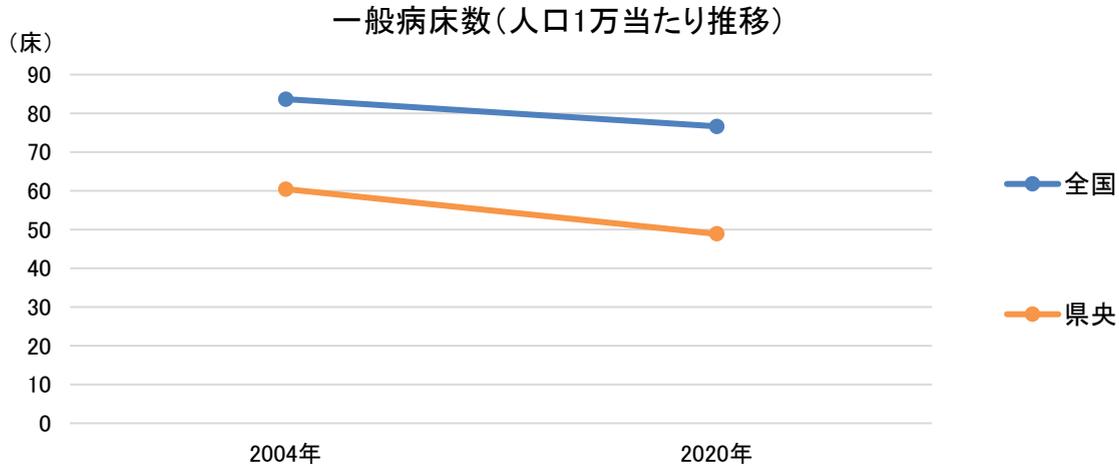
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は611人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2020年に1,176人(人口10万人当たり222人(全国平均305人)偏差値42)と、565人の増加、率にして92%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



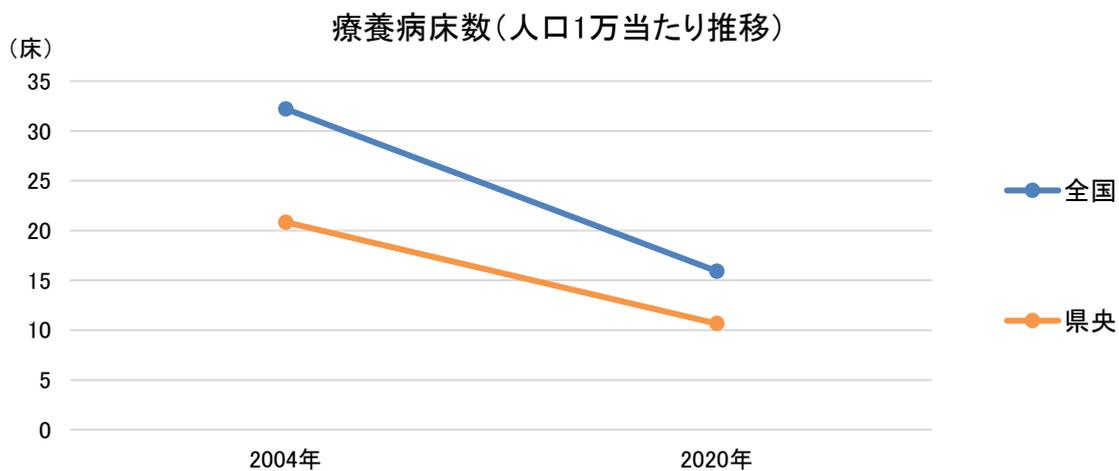
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は3,143床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2020年に2,586床(人口1万人当たり49(全国平均77)偏差値40)と、557床の減少、率にして18%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は633床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2020年に826床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均16)偏差値44)と、193床の増加、率にして30%の増加(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-6. かわごえひき 川越比企医療圏

構成市区町村	<a href="#">川越市</a>	<a href="#">東松山市</a>	<a href="#">坂戸市</a>	<a href="#">鶴ヶ島市</a>
	<a href="#">毛呂山町</a>	<a href="#">越生町</a>	<a href="#">滑川町</a>	<a href="#">嵐山町</a>
	<a href="#">小川町</a>	<a href="#">川島町</a>	<a href="#">吉見町</a>	<a href="#">鳩山町</a>
	<a href="#">ときがわ町</a>	<a href="#">東秩父村</a>		

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (川越比企医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 川越比企(川越市)は、総人口約794千人(2020年)、面積627km<sup>2</sup>、人口密度は1,267人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 川越比企の総人口は2030年に757千人へと減少し(2020年比-5%)、2045年に675千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の115千人が、2030年にかけて149千人へと増加し(2020年比+30%)、2045年には141千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 川越比企の一人当たり医療費(国保)は349千円(偏差値45)、介護給付費は200千円(偏差値31)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が48(病院医師数51、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。川越比企には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学総合医療センター(特定群・救命)、埼玉医科大学病院(大学本院群)、1000例以上の赤心堂病院(標準群)、500例以上の三井病院(標準群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 川越比企の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,367人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,692床(偏差値46)、高齢者住宅等が4,675床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,712人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設47、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム52、軽費ホーム46、グループホーム44、サ高住53である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、834人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(川越比企医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

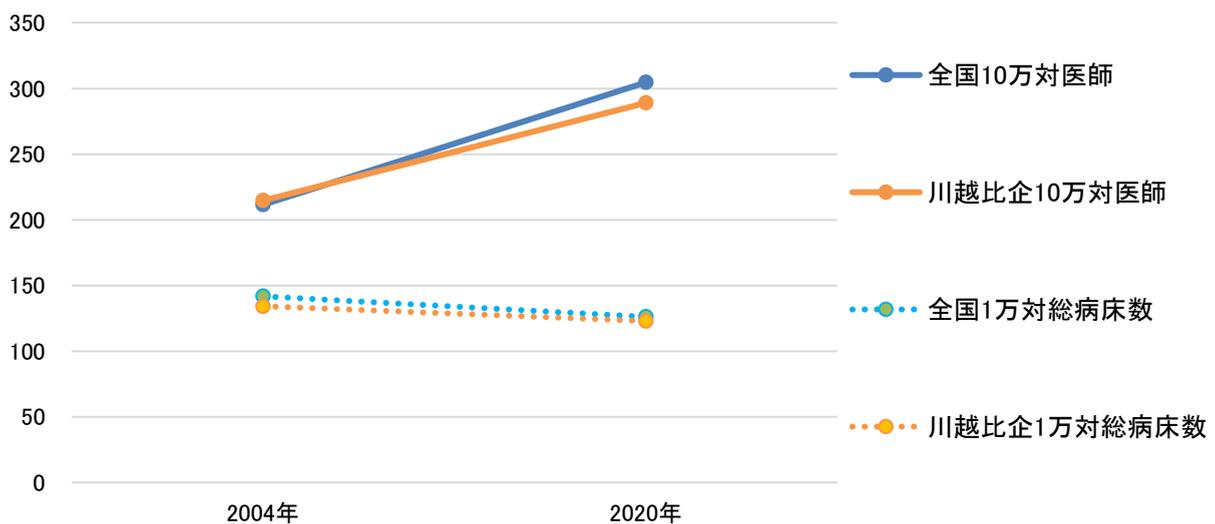
2004年の病院数は51(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2020年に50(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.5)偏差値49)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は439(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2020年に472(人口10万人当たり59診療所(全国平均81)偏差値39)と、33診療所が増加した。

2004年の総病床数は10,667床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2020年に9,765床(人口1万人当たり123(全国平均126)偏差値49)と、902床の減少、率にして8%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

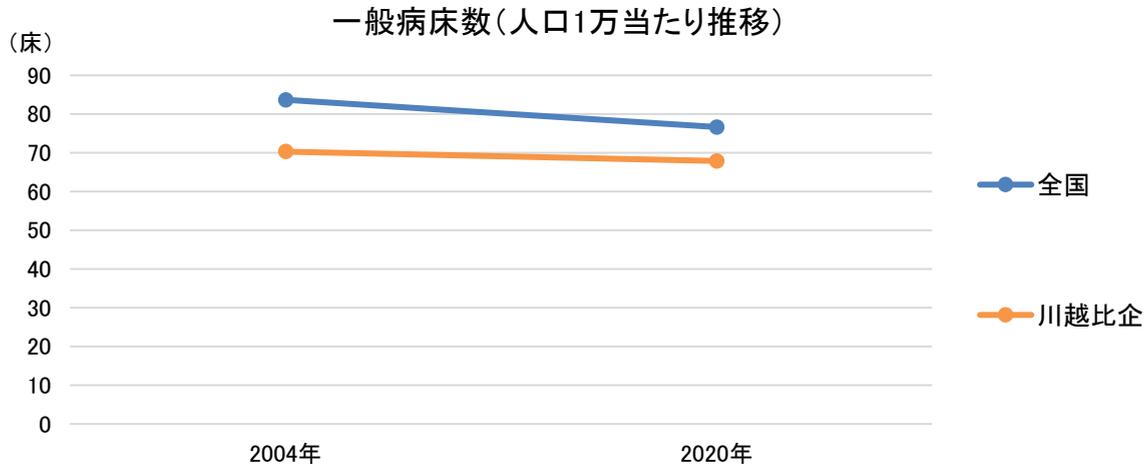
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,707人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2020年に2,295人(人口10万人当たり289人(全国平均305人)偏差値48)と、588人の増加、率にして34%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



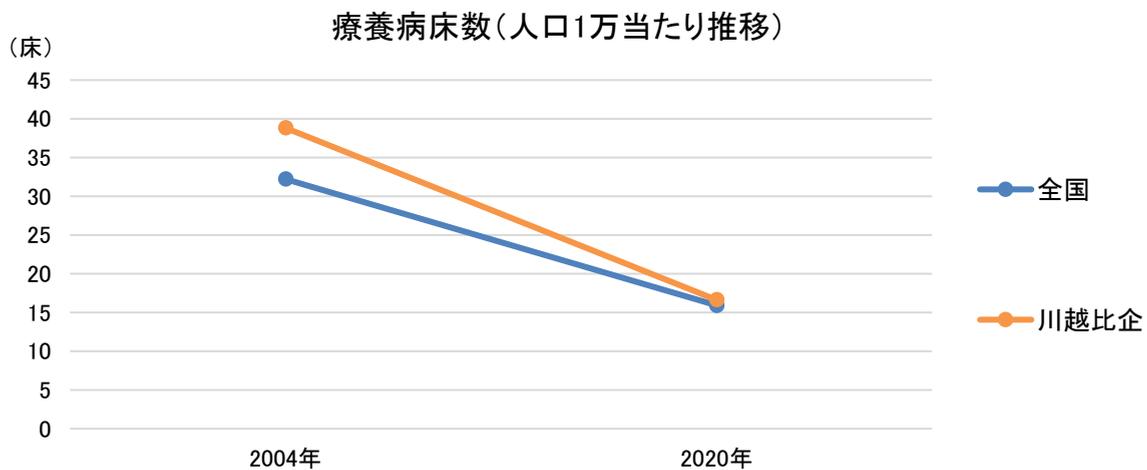
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は5,590床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2020年に5,389床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値47)と、201床の減少、率にして4%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,069床(75歳以上1,000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2020年に1,913床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均16)偏差値51)と、156床の減少、率にして8%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-7. <sup>せいぶ</sup>西部医療圏

構成市区町村 [所沢市](#) [飯能市](#) [狭山市](#) [入間市](#)  
[且高市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 西部(所沢市)は、総人口約772千人(2020年)、面積406km<sup>2</sup>、人口密度は1,899人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 西部の総人口は2030年に717千人へと減少し(2020年比-7%)、2045年に617千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の115千人が、2030年にかけて157千人へと増加し(2020年比+37%)、2045年には157千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 西部の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値44)、介護給付費は202千円(偏差値31)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学国際医療センター(標準群・救命)、埼玉石心会病院(特定群)、防衛医科大学校病院(大学本院群・救命)、1000例以上のNHO西埼玉中央病院(標準群)、500例以上の所沢明生病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,381人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,068床(偏差値48)、高齢者住宅等が4,313床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,677人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設52、介護医療院57、有料老人ホーム54、軽費ホーム50、グループホーム37、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、699人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(西部医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

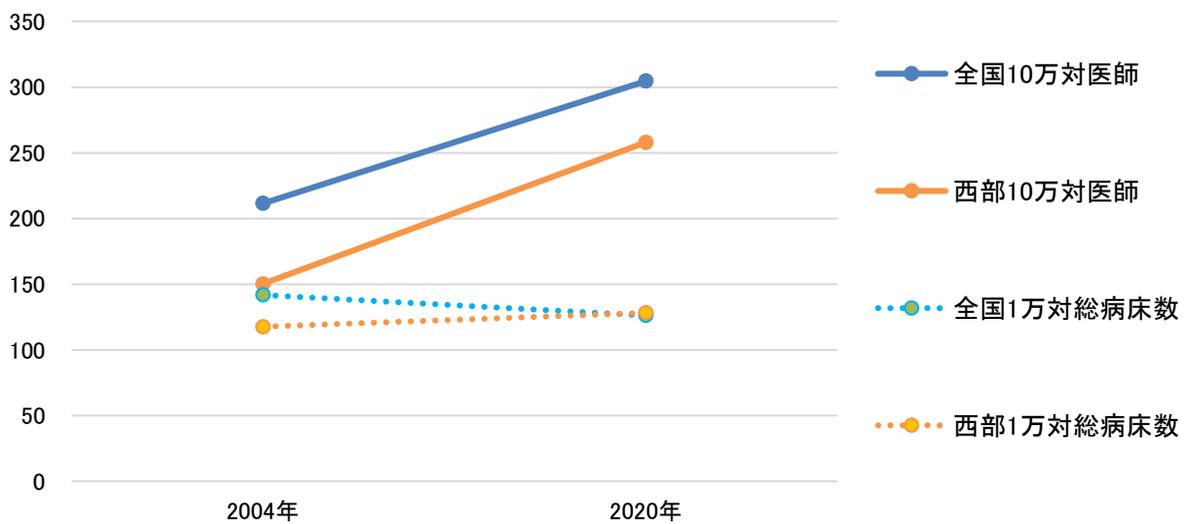
2004年の病院数は56(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2020年に53(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.5)偏差値51)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は401(人口10万人当たり51診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2020年に433(人口10万人当たり56診療所(全国平均81)偏差値37)と、32診療所が増加した。

2004年の総病床数は9,188床(人口1万人当たり118(全国平均142)偏差値46)であったが、2020年に9,893床(人口1万人当たり128(全国平均126)偏差値50)と、705床の増加、率にして8%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。

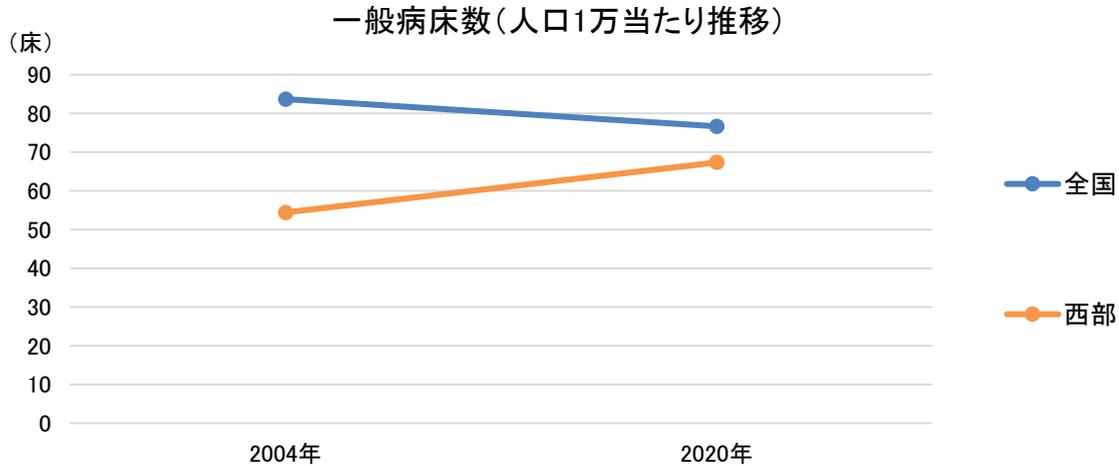
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,174人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2020年に1,991人(人口10万人当たり258人(全国平均305人)偏差値45)と、817人の増加、率にして70%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



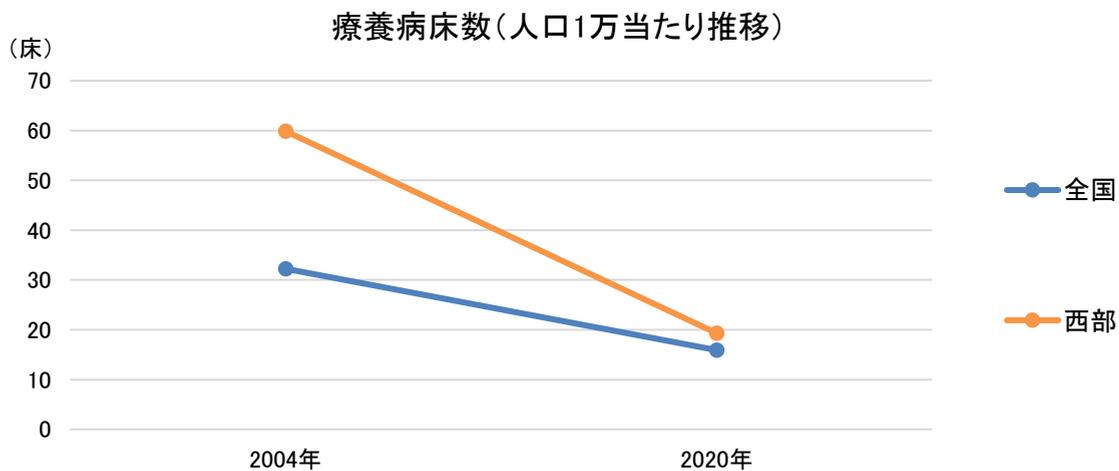
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は4,252床(人口1万人当たり54(全国平均84)偏差値40)であったが、2020年に5,198床(人口1万人当たり67(全国平均77)偏差値46)と、946床の増加、率にして22%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は3,107床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2020年に2,223床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均16)偏差値54)と、884床の減少、率にして28%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-8. <sup>と</sup><sup>ね</sup>利根医療圏

構成市区町村	<a href="#">行田市</a>	<a href="#">加須市</a>	<a href="#">羽生市</a>	<a href="#">久喜市</a>
	<a href="#">蓮田市</a>	<a href="#">幸手市</a>	<a href="#">白岡市</a>	<a href="#">宮代町</a>
	<a href="#">杉戸町</a>			

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (利根医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 利根(行田市)は、総人口約635千人(2020年)、面積474km<sup>2</sup>、人口密度は1,341人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 利根の総人口は2030年に578千人へと減少し(2020年比-9%)、2045年に482千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の95千人が、2030年にかけて125千人へと増加し(2020年比+32%)、2045年には113千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 利根の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値49)、介護給付費は206千円(偏差値33)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に低い。

### 【医療の現状】

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が35(病院医師数36、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。利根には、年間全身麻酔件数が1000例以上の新久喜総合病院(標準群)、500例以上の東埼玉総合病院(標準群)、羽生総合病院(標準群)、行田総合病院(標準群)、済生会栗橋病院(標準群)、白岡中央総合病院(標準群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 利根の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,311人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が6,119床(偏差値56)、高齢者住宅等が3,192床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,559人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院45、有料老人ホーム49、軽費ホーム51、グループホーム44、サ高住44である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、538人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(利根医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

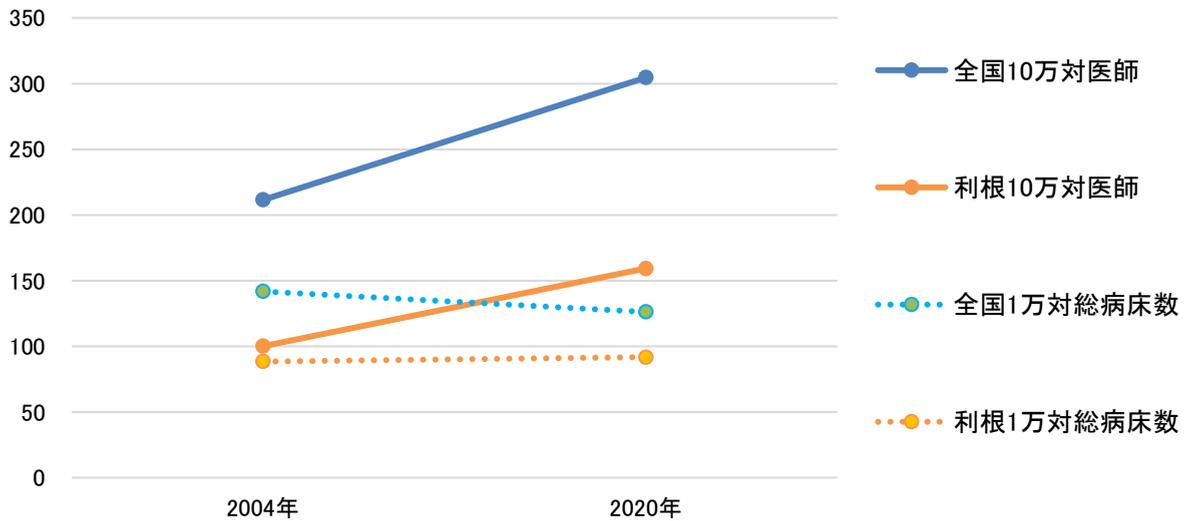
2004年の病院数は34(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2020年に32(人口10万人当たり5病院(全国平均6.5)偏差値46)となり、16年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数は318(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2020年に340(人口10万人当たり54診療所(全国平均81)偏差値36)と、22診療所が増加した。

2004年の総病床数は5,870床(人口1万人当たり89(全国平均142)偏差値40)であったが、2020年に5,834床(人口1万人当たり92(全国平均126)偏差値44)と、36床の減少、率にして1%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

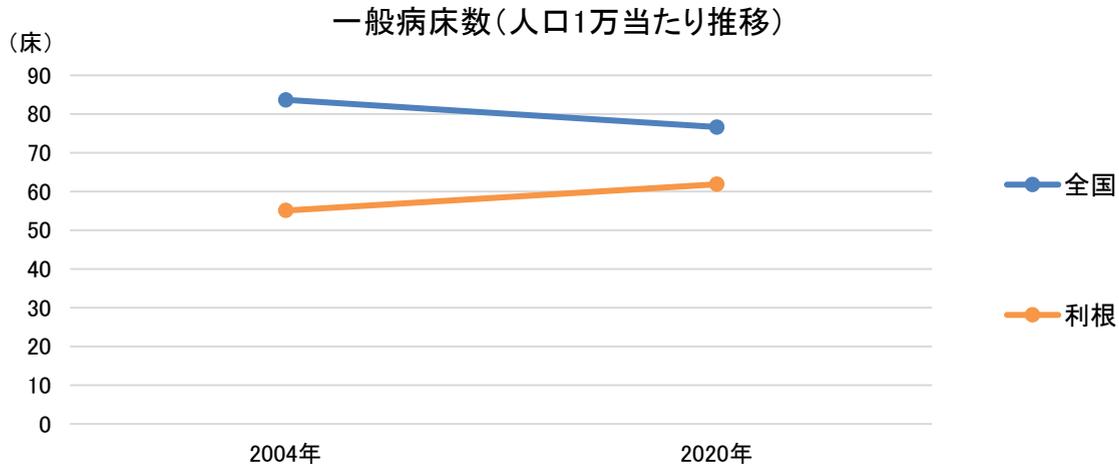
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は664人(人口10万人当たり100人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2020年に1,013人(人口10万人当たり159人(全国平均305人)偏差値35)と、349人の増加、率にして52%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



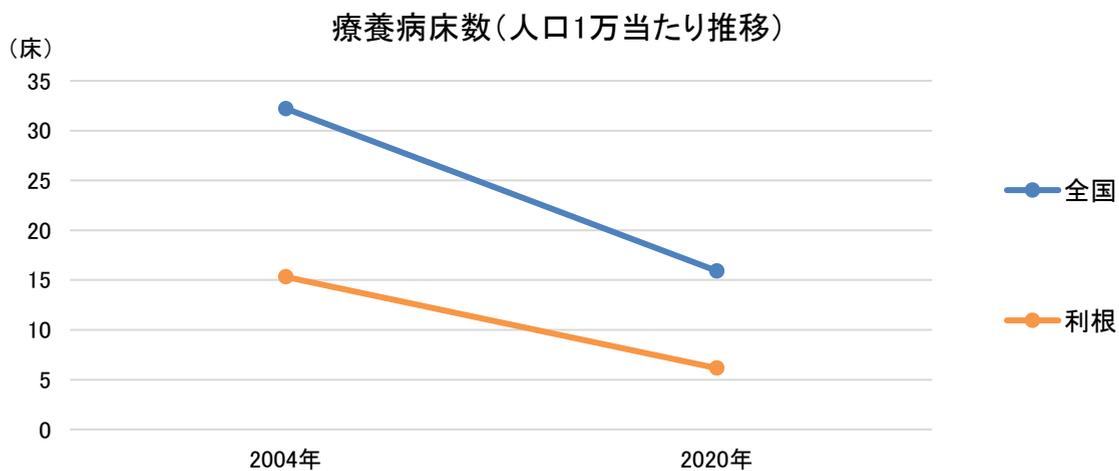
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は3,653床(人口1万人当たり55(全国平均84)偏差値40)であったが、2020年に3,932床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、279床の増加、率にして8%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は742床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2020年に586床(75歳以上1,000人当たり6(全国平均16)偏差値39)と、156床の減少、率にして21%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-9. <sup>ほくぶ</sup>北部医療圏

構成市区町村 [熊谷市](#) [本庄市](#) [深谷市](#) [美里町](#)  
[神川町](#) [上里町](#) [寄居町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北部(熊谷市)は、総人口約501千人(2020年)、面積562km<sup>2</sup>、人口密度は892人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北部の総人口は2030年に460千人へと減少し(2020年比-8%)、2045年に391千人へと減少する(2030年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の72千人が、2030年にかけて93千人へと増加し(2020年比+29%)、2045年には90千人へと減少する(2030年比-15%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値45)、介護給付費は237千円(偏差値42)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数40、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の深谷赤十字病院(標準群・救命)、熊谷総合病院(標準群)、500例以上の県立循環器・呼吸器病センター(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,237人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,340床(偏差値53)、高齢者住宅等が3,897床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,725人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院45、有料老人ホーム50、軽費ホーム67、グループホーム50、サ高住63である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、606人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(北部医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

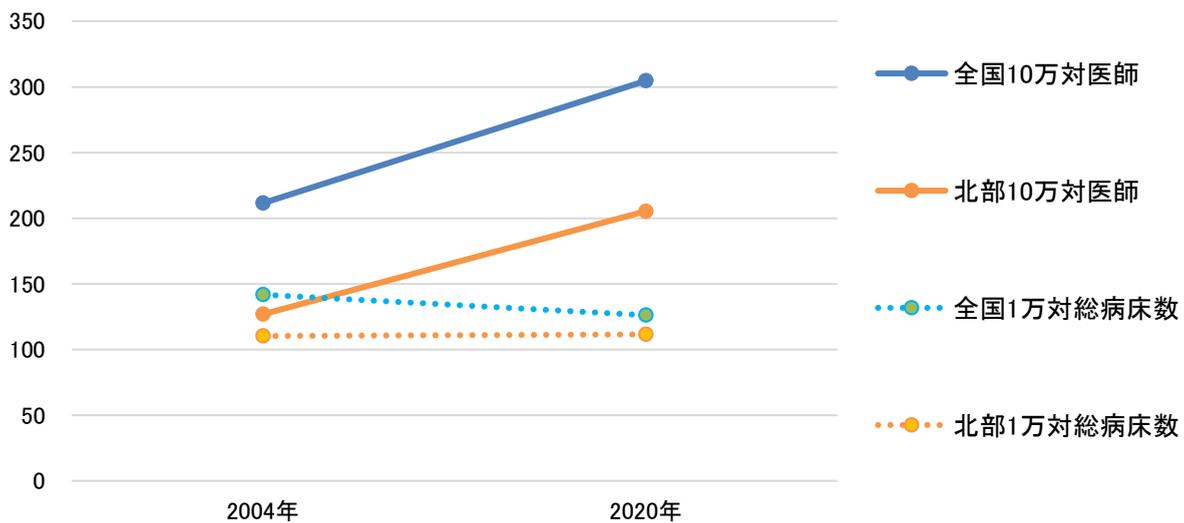
2004年の病院数は35(人口10万人当たり6.6病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2020年に34(人口10万人当たり6.8病院(全国平均6.5)偏差値51)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は345(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2020年に357(人口10万人当たり71診療所(全国平均81)偏差値45)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数は5,833床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2020年に5,596床(人口1万人当たり112(全国平均126)偏差値47)と、237床の減少、率にして4%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

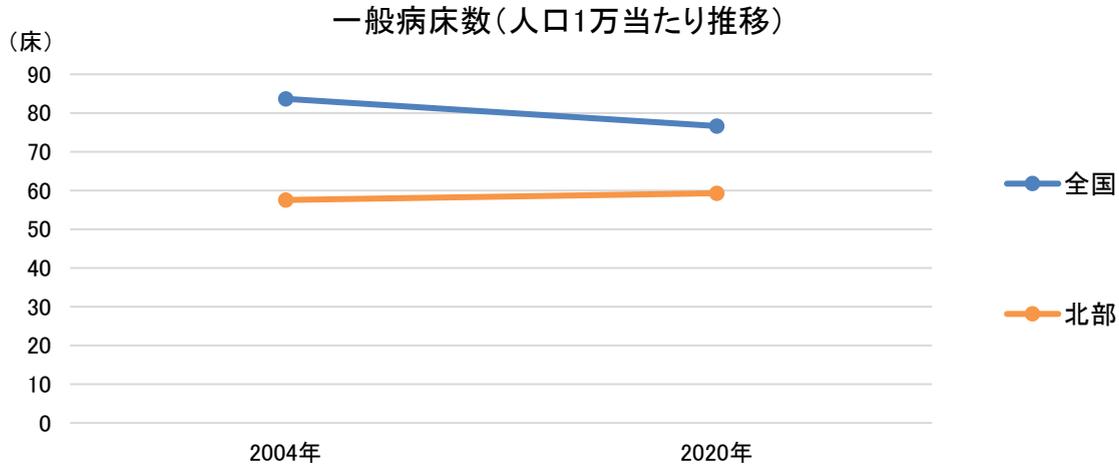
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は671人(人口10万人当たり127人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2020年に1,030人(人口10万人当たり205人(全国平均305人)偏差値40)と、359人の増加、率にして54%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



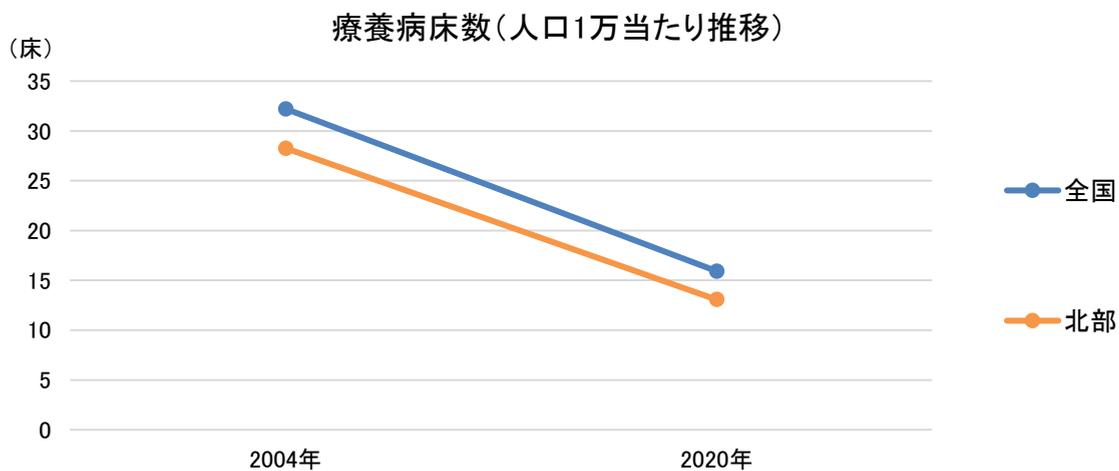
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は3,038床(人口1万人当たり58(全国平均84)偏差値41)であったが、2020年に2,973床(人口1万人当たり59(全国平均77)偏差値43)と、65床の減少、率にして2%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,256床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に946床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均16)偏差値47)と、310床の減少、率にして25%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 11-10. <sup>ちちぶ</sup>秩父医療圏

構成市区町村 [秩父市](#) [横瀬町](#) [皆野町](#) [長瀨町](#)  
[小鹿野町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (秩父医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 秩父(秩父市)は、総人口約95千人(2020年)、面積893km<sup>2</sup>、人口密度は106人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 秩父の総人口は2030年に80千人へと減少し(2020年比-16%)、2045年に61千人へと減少する(2030年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の18千人が、2030年にかけて19千人へと増加し(2020年比+6%)、2045年には17千人へと減少する(2030年比-24%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 秩父の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値45)、介護給付費は255千円(偏差値47)であり、医療費、介護給付費ともにやや低い。

### 【医療の現状】

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が37(病院医師数35、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。秩父には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 精神病床数は0である。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 秩父の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,842人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,286床(偏差値62)、高齢者住宅等が556床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,420人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム45、軽費ホーム57、グループホーム48、サ高住41である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、117人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(秩父医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

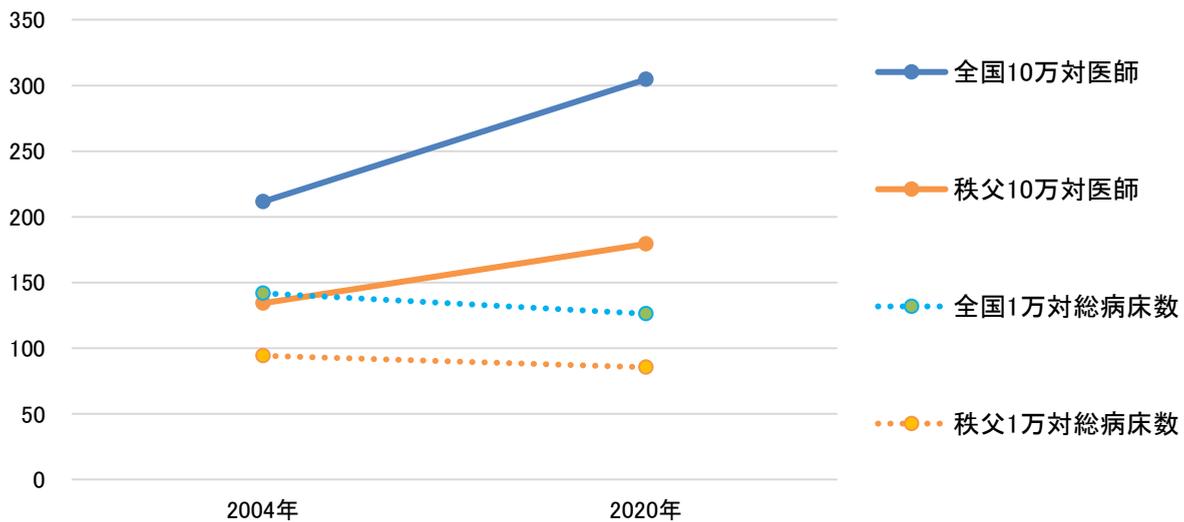
2004年の病院数は10(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2020年に8(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.5)偏差値55)となり、16年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数は87(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2020年に87(人口10万人当たり92診療所(全国平均81)偏差値55)と、増減がなかった。

2004年の総病床数は1,081床(人口1万人当たり94(全国平均142)偏差値41)であったが、2020年に810床(人口1万人当たり86(全国平均126)偏差値42)と、271床の減少、率にして25%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

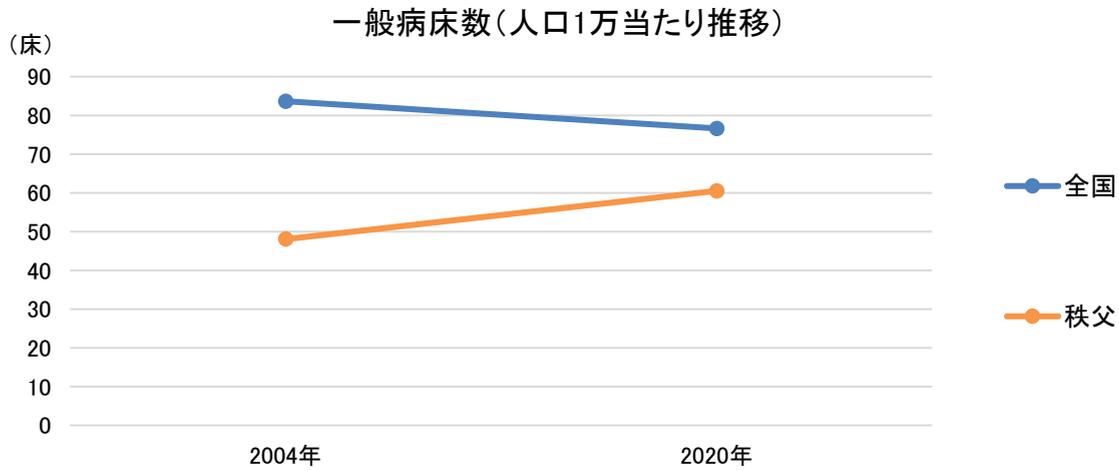
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は154人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2020年に170人(人口10万人当たり179人(全国平均305人)偏差値37)と、16人の増加、率にして10%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は551床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2020年に573床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、22床の増加、率にして4%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は350床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2020年に237床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均16)偏差値47)と、113床の減少、率にして32%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

